

## 医薬品（全般）の個人輸入実態調査

研究分担者 大柳賀津夫（北陸大学薬学部）  
研究協力者 秋本義雄（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科）  
坪井宏仁（金沢大学医薬保健研究域薬学系）  
吉田直子（金沢大学医薬保健研究域薬学系）  
木山美佳（北陸大学薬学部）

### 研究要旨

#### 【目的】

我が国では医薬品の個人輸入は禁止されていないが、個人輸入医薬品による健康被害の報告は少なくなく、注意喚起がなされている。医薬品個人輸入を行う消費者の実態に関する調査報告は平成 20 年度以降なく、改めて実態把握が必要である。そこで医薬品個人輸入の現状、副作用様症状の有無やその際の対処状況、その他の問題点を明らかにし、得られた知見が、今後の我が国における対策策定の参考に資する調査を目的とした。

#### 【方法】

平成 31 年 2 月 6 日～2 月 8 日および 2 月 21 日～2 月 28 日、インターネットリサーチ会社の登録会員を対象に、医薬品個人輸入の消費者実態調査として、質問票を用いたアンケートによるインターネット調査を実施、結果を詳細に解析し、啓発の在り方について考察した。

#### 【結果および考察】

医薬品の個人輸入経験者は有効回答者数の約 1 割存在し、平成 20 年度の調査結果と比べ 2 倍であった。個人輸入方法はインターネット等の利用が 8 割以上、個人輸入の動機として回答者の半数がインターネットの手軽さや値段の安さなどを挙げた。個人輸入医薬品による副作用様症状経験者は約 2 割存在し、平成 20 年度の調査結果の 1.4 倍だった。副作用様症状経験者のうち医療機関を受診した者の経過では、1 回の受診では済まず通院が必要となるなど重篤な有害事象が生じていた。また、個人輸入に係るリスクを認識していても今後も個人輸入を予定する者が多く存在し、さらに副作用様症状経験者は非経験者に比べ個人輸入を予定する者が多く、リスクの認識や副作用様症状の経験が、その後の個人輸入中止に必ずしもつながらないことが示唆された。

#### 【結論】

今後もインターネットを利用した医薬品の個人輸入者は増えることが予想される。医薬品個人輸入の趣旨を国民に周知するとともに、素人判断で海外から医薬品を輸入し服用するこ

とは危険であることを繰り返し注意喚起することや、規制強化などを今後も講じていく必要があると考える。さらに性別や年齢を考慮しターゲットを絞った対策や、薬育の充実化も必要と考える。

## A. 研究目的

我が国における医薬品の個人輸入は、外国で受けた治療の継続、また治療上の緊急性があるにも関わらず当該医薬品が国内で販売されていないなど差し迫った状況にも対応できるよう「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」で禁止されていない。近年、インターネットの普及に伴い医薬品の個人輸入が容易となったが、個人輸入された医薬品による健康被害の報告は少なくなく、厚生労働省のホームページでも健康被害の事例が紹介され、注意喚起がなされている[1]。

研究代表者 木村らは、平成 18 年度から個人輸入医薬品の保健衛生等に関する調査研究を行ってきており、禁止薬、無評価薬、偽造薬、未承認薬、大量販売、処方箋無確認、無資格販売、不適切な日本語説明書などが常態化していることを明らかにしてきた[2-5]。荒木らが平成 20 年度、医薬品個人輸入の現状や保健衛生上の問題等を明らかにするために、インターネット調査会社に登録している一般の男女約 20 万人を対象に実施したアンケート調査（以下、平成 20 年度の調査という。）では、有効回答者 13,229 人のうち 663 人（5.0%）に個人輸入経験があり、性別は女性（40.0%）より男性（60.0%）の方が多く、年齢は 40 代が最も多かった。

663 人のうち、572 人（86.3%）はインターネット上で注文していた。医薬品の個人輸入の動機に、経験者の半数以上がインターネットの手軽さ、値段が安かったことを挙げ、それぞれ 375 人（56.6%）、369 人（55.7%）であった。一方、海外で受けた治療を継続する必要があったことを動機とする者は 11 人（1.7%）であった。個人輸入した医薬品は、性機能の増強、育毛・養毛、ダイエット関連薬、美容関連薬等、生活改善薬が上位を占めていた。個人輸入した医薬品を使用した結果、469 人（70.7%）が期待した効果が得られたと回答した一方、194 人（29.3%）は効果が得られなかったと回答した。また個人輸入医薬品を使用した 105 人（15.8%）が副作用様症状を経験し、そのうち 66 人は特に手当てすることなく副作用様症状が消失するまで我慢、22 人は病院を受診、11 人は市販薬を服用して対処していた。さらに今後も個人輸入したいと回答した者は個人輸入経験者の 120 人（18.1%）と、一般消費者の個人輸入実態や種々の問題点を明らかにした[5]。

平成 24 年には、個人輸入により大量に流通する未承認医薬品で美容整形した患者が健康被害を訴えたことを契機に、医療従事者の個人輸入要件の厳格な運用などについて薬害オンブズパーソン会議から厚生労働大臣等に要望書が提出されている[6-7]。また、脳機能調整薬（スマートドラッグ）につ

いても個人輸入で学生や受験生に出回り、容易に入手できないよう取組の強化について国会厚生労働委員会で要請がなされている[8]。平成20年度の調査でも、個人輸入した医薬品には美容関連薬93人(14.0%)、スマートドラッグ15人(2.3%)も含まれ、副作用様症状も美容関連薬購入者では19人、スマートドラッグ購入者では6人が経験していた[5]。

平成20年度の調査から約10年が経過し、この間にスマートフォン所持率の上昇等によるインターネット利用環境も変化している[9]。また一般消費者の健康に対する指向性も変化している可能性があり、改めて現時点での医薬品個人輸入の実態把握が必要である。

そこで本研究では、平成30年度における一般消費者の医薬品個人輸入の現状、副作用様症状の有無やその際の対処状況、その他の問題点を明らかにするとともに、平成20年度の調査結果との比較も行い、得られた知見を今後の我が国における個人輸入の在り方を検討する際の参考に資する調査を目的とした。

## B. 研究方法

### 1. 対象およびリクルート方法

一般消費者として、インターネットリサーチ会社の株式会社マクロミル(以下、マクロミルという。)に登録している全ての一般の男女約120万人を対象とした。平成20年度の調査と同規模となるように、本調査での回答者数は500人以上と設定し、スクリーニング調査は18,000人(上限20,000人)をリクルートした。スクリーニング調査は10代から60代以上の男女を、それぞれ年

代別に6つに層別化して、計12層とした。スクリーニング調査において回答者に偏りが生じないように、本調査の対象となる回答者の出現数をみながら、各層が一定数(1,500人)となるよう複数回リクルートを繰り返した。本調査は、スクリーニング調査で医薬品個人輸入経験があると回答した全員を対象とした。

### 2. 調査方法

医薬品個人輸入の実態調査として、インターネット上で選択式および一部記述式を含む質問票を用いたアンケート調査を実施した。質問票は、まず医薬品の個人輸入経験者を抽出するスクリーニング調査、次に個人輸入に関するより詳細な回答を得る本調査の二段構成とした。

### 3. 調査期間

[スクリーニング調査]

平成31年2月6日(水)～2月8日(金)

[本調査]

平成31年2月21日(木)～2月28日(木)

### 4. 調査の内容

主な調査内容は、以下のとおりである。

[スクリーニング調査]

- 属性：職業
- 医薬品個人輸入の経験：医薬品の個人輸入経験の有無、個人輸入しなかった理由

[本調査]

- 医薬品個人輸入経験者の医療系資格の有無とその内訳
- 医薬品の個人輸入に関して：個人輸入方法、注文方法、利用サイト名、輸入品目、頻度、期間、国内類似薬

の有無、美容関連薬およびスマート  
ドラッグの名称ならびに用途

- 医薬品製品情報の入手先、個人輸入  
医薬品の発送国、説明文書の有無等
  - 医薬品個人輸入の動機、輸入に際し  
ての相談状況
  - 個人輸入した医薬品の効果と副作用
  - 個人輸入医薬品による有害事象への  
対処
  - 医薬品を個人輸入した際のトラブル  
と対処
  - 医薬品個人輸入経験者の健康状態と  
健康保持・増進活動
  - 医薬品個人輸入経験者の個人輸入に  
関する知識・認識
  - 医薬品個人輸入経験者の今後の動向
- 回答者の性別、年齢等の情報は、マクロ  
ミルよりもらい受けるため、質問票の項  
目には含めなかった。

## 5. 解析方法

アンケート結果のデータは、Microsoft  
Excel 2013 にて集計後、IBM SPSS Statistics  
25.0 を用いて解析を行った。2 群間比較お  
よび 3 群間比較は Pearson の  $\chi^2$  検定または  
Fisher の正確確率検定を用い、有意水準 5%  
未満 ( $p < 0.05$ ) を有意差ありとした。また 3  
群間比較では、どのセルが有意な関連に寄  
与しているのかを確認するため調整済み残  
差を算出し、 $p < 0.05$  水準で  $\pm 1.96$  以上を関  
連に寄与しているとした。

## 6. 倫理的配慮

本研究は、北陸大学臨床教育・研究倫理申  
請委員会および金沢大学医学倫理審査委員  
会の承認を受けて実施した。

## C. 研究結果

スクリーニング調査で計 18,000 人にリク  
ルートしたところ、有効回答者 16,571 人  
(92.1%) から回答が得られ、1,718 人 (有  
効回答者数の 10.4%) が医薬品個人輸入経  
験ありと回答した。

本調査は 1,718 人を対象とし、1,043 人か  
ら回答が得られた (有効回答率 : 60.7%)。

### 1. [スクリーニング調査] 回答者の属 性 : 表 1

男性 7,781 人 (47.0%)、女性 8,790 人 (53.0%)  
と性別に大差はなかった。

職業で最も多かったのは、勤めていない  
(専業主婦、学生を含む) 6,053 人 (36.5%)、  
少なかったのは調査業・広告代理業で 20 人  
(0.1%) であった。医療業は 673 人 (4.1%)  
であった。

### 2. [スクリーニング調査] 医薬品個人輸 入の経験 : 表 2-1-2-3

医薬品を個人輸入したことがあると回答  
した者は 1,718 人 (10.4%) であり、10 代女  
性、50 代男性において有意に多かった。個  
人輸入経験者 1,718 人について性別で比較  
した場合、男性 939 人 (54.7%)、女性 779 人  
(45.3%) と男性が有意に多かった。年齢に  
おいても有意差が見られ、男女全体では 20  
代から 40 代が有意に多かった (表 2-1-2-  
3)。

一方、個人輸入経験がないと回答した者  
は 14,853 人 (89.6%) であり、その理由を尋  
ねたところ、海外の医薬品を使用する必要  
がなかったと回答した者が最も多く 10,008  
人 (67.4%)、その他の回答を除き、海外の  
医薬品を使用すると副作用が起きても医薬  
品副作用被害救済制度の対象にならないか  
らと回答した者が 1,088 人 (7.3%) と最も少  
なかった。海外の医薬品は偽造品であるか

もしれないからと回答した者は 2,005 人 (13.5%) であった (複数回答) (表 2-1)。以下、本調査の結果である。

### 3. 医薬品個人輸入経験者の属性：表 3-1-3-3

個人輸入経験者 1,043 人において、有意に多かったのは 10 代および 20 代女性、40 代男性であった。個人輸入経験者 1,043 人について性別で比較した場合、男性 629 人 (60.3%)、女性 414 人 (39.7%) と男性が有意に多かった。年齢においても有意差が見られ、男女全体では 30 代および 40 代が有意に多かった (表 3-1-3-3)。

職業で最も多かったのは、勤めていない (専業主婦、学生を含む) 245 人 (23.5%)、次にその他 157 人 (15.1%) が続いた。一方、少なかったのは農業・林業・漁業・鉱業と出版・印刷関連業で、いずれも 13 人 (1.2%) であった。医療業は 55 人 (5.3%) であった (表 3-1)。

### 4. 医療系資格の有無・内訳：表 4

医療業に就く個人輸入経験者 55 人のうち、医療系の資格を持たない者は 16 人 (29.1%) であった。一方、医療系の有資格者の内訳は、医師・歯科医師 8 人 (14.5%)、薬剤師 5 人 (9.1%)、保健師・助産師・看護師 12 人 (21.8%)、その他 14 人 (25.5%) であった (複数回答)。

医療業以外の職業に就く個人輸入経験者 988 人のうち、医療系の有資格者が 133 人 (13.5%)、資格を持たない者が 855 人 (86.5%) であった。医療系の有資格者の内訳は、医師・歯科医師 30 人 (22.6%)、薬剤師 51 人 (38.3%)、保健師・助産師・看護師 40 人 (30.1%)、その他 28 人 (21.1%) であった (複数回答)。

医療業に就いている、いないにかかわらず、医療系有資格者は 172 人 (16.5%) であった。

### 5. 医薬品個人輸入に関して：表 5-1-5-2

医薬品を個人輸入した方法について、日本国内からインターネットや電話、ファックスなどを利用して注文した者が 892 人 (85.5%)、自ら海外で購入して、日本国内に持ち帰った者が 143 人 (13.7%)、自ら海外で購入し、海外から日本国内の自分の住所に送った者が 56 人 (5.4%)、その他 44 人 (4.2%) であり、インターネット等を用いた医薬品の個人輸入が多数を占めた (複数回答) (表 5-1)。

医薬品の注文方法は、輸入代行業者を利用した者が 694 人 (77.8%) と最も多く、海外の販売業者に直接注文し、代金を自ら海外に送金して支払った者が 100 人 (11.2%)、輸入代行業者を利用したのか、海外の販売業者に直接だったのかわからないと回答した者が 149 人 (16.7%)、その他 2 人 (0.2%) であった (複数回答) (表 5-1)。

個人輸入した医薬品の用途で多かったものは、ダイエット 246 人 (23.6%)、美容 232 人 (22.2%)、育毛・養毛 204 人 (19.6%)、性機能の増強 194 人 (18.6%) であった (複数回答) (表 5-1)。

### 6. 年代別・個人輸入医薬品の用途：表 6-1-6-6

男女全体では、10 代から 40 代いずれの年代にもダイエットおよび美容が上位 3 項目に含まれ、残り 1 項目は 10 代では歯のホワイトニング、20 代はスマートドラッグ、30 代と 40 代は育毛・養毛であった (複数回答)。50 代および 60 代以上では、いずれも育毛・養毛、性機能の増強が上位 3 項目に

含まれ、残り1項目はそれぞれダイエット、滋養・強壮であった(複数回答)(表 6-1-6-2)

男性では、10代および20代いずれもダイエットおよび美容が上位3項目に含まれ、残り1項目はそれぞれ歯のホワイトニング、スマートドラッグであった(複数回答)。30代から50代ではダイエット、育毛・養毛、性機能の増強、60代以上は育毛・養毛、性機能の増強、滋養・強壮が上位の3項目であった(複数回答)(表 6-3-6-4)。

女性では、10代から60代以上のすべての年代でダイエットおよび美容が上位3項目に含まれ、残り1項目は10代では歯のホワイトニング、20代から40代は避妊、50代は睡眠、60代以上は滋養・強壮であった(複数回答)(表 6-5-6-6)。

#### 7. 医薬品個人輸入代行を行うインターネットサイト名：表7

医薬品個人輸入代行を行うインターネットサイトのうち、個人輸入経験者がよく利用する、または有名だと思ふサイト名について593件の記載による回答を得た(自由記載による複数回答(上位3件まで))。個人輸入代行を行うサイトの「回答1」を記載した回答が最も多く112件であった。また記載件数の多い上位10個に「回答4」28件や「回答7」18件、「回答8」17件、「回答10」15件など、インターネット通販サイトや検索エンジン等の回答も見られた。

#### 8. 医薬品個人輸入の頻度：表8、図1

個人輸入した医薬品の用途別の輸入頻度について表8および図1にまとめた。ダイエット、美容、歯のホワイトニング等では、購入回数は1回のみ傾向が見られた。一方、スマートドラッグ、育毛・養毛、性機能

の増強、避妊、性病、がん、アレルギー等は、間隔の違いはあるが繰り返し購入される傾向が見られた。

#### 9. 医薬品個人輸入の期間：表9、図2

個人輸入した医薬品の用途別の輸入期間について表9および図2にまとめた。表8、図1で繰り返し個人輸入される傾向にあった用途のうち、育毛・養毛、性機能の増強等は、5年以上継続的に個人輸入される割合が比較的高かった。

#### 10. 国内類似薬の有無：表10、図3

個人輸入した医薬品に国内類似薬があるか否かについて表10および図3にまとめた。すべての用途で、国内に類似の医薬品があるとの回答が得られた。

#### 11. 美容関連薬：表11-1-11-2、図4-6

美容関連薬を個人輸入した者の属性と美容関連薬の用途を表11-1-11-2および図4-6にまとめた。

性別の回答者数は男性72人(31.0%)、女性160人(69.0%)と女性が有意に多かった。年齢別でも有意差が見られ、10代および20代が有意に多かった(表11-1-11-2)。

用途別では、日焼け・シミ予防、美白71人(30.6%)、ニキビ治療68人(29.3%)、しわ・たるみ予防30人(12.9%)、保湿27人(11.6%)、老化防止・若返り24人(10.3%)、角化・乾癬治療12人(5.2%)、豊胸12人(5.2%)、脱毛11人(4.7%)、白斑治療10人(4.3%)、その他51人(22.0%)であった(複数回答)(表11-1)。

#### 12. 美容関連薬の製品名：表12-1-12-2

美容関連薬の製品名については、319件の記載を得た(複数回答)。有効成分と思われる「トレチノイン」や「ハイドロキノン」を記載した回答や、化粧品の製品名を記載し

た回答もあった。また製品名ではなく、人名や解釈不能な文字列、回答をつなげると文になるもの等、明らかに不適切と考えられる回答もあった（319件中、27件）。

### 13. スマートドラッグ：表 13-1-13-2、図 7-9

スマートドラッグを個人輸入した者の属性とスマートドラッグの用途を表 13-1-13-2 および図 7-9 にまとめた。

性別の回答者数は男性 50 人（80.6%）、女性 12 人（19.4%）と男性が有意に多かった。年齢別では 20 代が有意に多く約半数を占めた（表 13-1-13-2）。

用途別では、集中力を高める 42 人（67.7%）、記憶力を高める 21 人（33.9%）、頭の回転をよくする 16 人（25.8%）、その他 10 人（16.1%）であった（複数回答）（表 13-1）。

### 14. スマートドラッグの製品名：表 14-1-14-2

スマートドラッグの製品名については、86 件の記載を得た（複数回答）。この中には有効成分を記載したと思われる「モダフィニル」が含まれており、これは第一種向精神薬である。さらに「ピラセタム」「アニラセタム」などが含まれていた。これらは海外からの入国者が国内滞在中の自己の治療のために携帯して個人輸入する場合を除き、数量に関わらず、あらかじめ薬監証明の交付を受ける必要がある成分だが[10]、規制が適用された平成 31 年 1 月 1 日より前に輸入されたものかは、本研究における調査では確認できない。また、カンナビスを連想させる「カナビス」の記載があった。美容関連薬と同様、人名や解釈不能な文字列、回答をつなげると文になるもの等、明らかに不適切と

考えられる回答もあった（86 件中、10 件）。

### 15. 医薬品製品情報の入手先：表 15

医薬品製品情報の入手先では、輸入代行業者が提供する製品情報を見た者が最も多く 328 人（31.4%）であった（複数回答）。また、友人からの口コミ、インターネット上での製品情報検索や広告等を見て情報を得た者も少なくなかった。Twitter や Facebook、Instagram などの SNS から情報を得た者も存在した。

### 16. 個人輸入医薬品の発送国と説明文書：表 16

個人輸入医薬品の発送国は、アメリカが最も多く 303 人（29.1%）、どこから送られてきたかわからないと回答した者 290 人（27.8%）が続いた（複数回答）。

個人輸入した医薬品に使用方法や注意事項が記載された文書が入っていたと回答したのは 686 人（65.8%）であった。この 686 人に文書の言語を尋ねたところ、最も多かったのは英語 332 人（48.4%）、次は日本語 304 人（44.3%）であった（複数回答）。

医薬品の使用方法や注意事項など記載内容の理解度に対する回答では、よく理解できた 209 人（20.0%）、ある程度理解できた 430 人（41.2%）、あまり理解できなかった 176 人（16.9%）、全く理解できなかった 57 人（5.5%）、読んでいない 171 人（16.4%）であった。

### 17. 医薬品個人輸入の動機と輸入に際しての相談：表 17

医薬品を個人輸入した動機・理由に関する質問では、インターネットを利用して手軽に注文できるから、値段が安かったからと回答した者がいずれも半数以上おり、それぞれ 537 人（51.5%）、534 人（51.2%）で

あった（複数回答）。また、病院・診療所・薬局に行くのが面倒、他人に知られずに入手したかったと回答した者が、それぞれ 203 人（19.5%）、166 人（15.9%）存在した（複数回答）。一方、海外で受けた治療を継続する必要があったからと回答した者は 20 人（1.9%）と最も少なかった（複数回答）。

個人輸入に際して、医師・歯科医師や薬剤師など医療系の専門家に相談したかについて、しなかったと回答した者は 751 人（72.0%）であった。一方、相談した者のうち、個人輸入すべきかどうかについて相談した者は 104 人（10.0%）であったが、個人輸入する意志が既に固まっていると思われた者の相談も少なくなかった（個人輸入の方法を相談した：103 人（9.9%）、購入したい製品が決まっていなかったため、おすすめの製品について相談した：88 人（8.4%）、購入したい製品が決まっていたので、その製品の品質や有効性、安全性について相談した：78 人（7.5%））（複数回答）。

#### 18. 個人輸入した医薬品の効果と副作用：

##### 表 18

個人輸入した医薬品を使用して、期待した効果が得られたかについては、期待した以上に効果が得られた 193 人（18.5%）、おおむね期待した程度に得られた 555 人（53.2%）、期待した程度には得られなかった 184 人（17.6%）、全く得られなかった 111 人（10.6%）であった。

個人輸入した医薬品により副作用様症状を経験したと回答した者は 226 人（21.7%）であった。この 226 人に副作用様症状について尋ねたところ、皮膚への影響と回答した者が最も多く 66 人（29.2%）、かぜのような症状 49 人（21.7%）、ほてり 40 人（17.7%）、

吐き気、嘔吐 39 人（17.3%）と続いた（複数回答）。

#### 19. 個人輸入医薬品による副作用様症状経験者：表 19-1～19-3、図 10～11

副作用様症状経験者 226 人の性別は男性 166 人（73.5%）、女性 60 人（26.5%）、年齢は 20 代が最も多く 68 人（30.1%）であり、30 代、40 代および 50 代がそれぞれ 56 人（24.8%）、44 人（19.5%）、および 35 人（15.5%）と続いた。個人輸入頻度は、1 回のみを除き、副作用様症状経験者では、おおむね 1 ヶ月以内または 2～3 ヶ月以内ごとに繰り返している者が多く、副作用様症状を経験しなかった者では、おおむね 2～3 ヶ月以内、おおむね半年以内またはおおむね半年より長い間隔で繰り返している者が多かった（複数回答）。個人輸入した期間は、1 回のみを除き、副作用様症状の経験有無にかかわらず、継続的に半年以内から 3 年以内と回答した者が多かった（複数回答）。副作用様症状を経験しなかった者の中には、継続的に 5 年を超えてと回答した者も少なくなかった（複数回答）（表 19-1）。

副作用様症状経験者が個人輸入した医薬品の用途は、ダイエット 88 人（38.9%）、性機能の増強 73 人（32.3%）、育毛・養毛 65 人（28.8%）、美容 60 人（26.5%）の順に多く、次にスマートドラッグ 34 人（15.0%）であった（複数回答）（表 19-2、図 10）。また、副作用様症状経験者の割合が用途別購入者の半数以上を占めたのは、がん、性病、スマートドラッグであった（表 19-2、図 11）。

副作用様症状経験者が個人輸入した医薬品の発送国では、中国（香港を除く）および香港が有意に多かった（複数回答）（表 19-3）。



副作用様症状経験者のうち、医薬品の使用方法や注意事項などが記載された文書の内容を理解できたと回答した者（153人、67.7%）は、理解できなかつたと回答した者（73人、32.3%）よりも有意に多く、さらに副作用様症状を経験しなかつた者と比較しても有意に多かつた。また個人輸入医薬品を使用して期待した効果が得られたと回答した者（188人、83.2%）は、期待した効果が得られなかつたと回答した者（38人、16.8%）よりも有意に多く、さらに副作用様症状を経験しなかつた者と比較しても有意に多かつた（表 19-3）。

## 20. 個人輸入医薬品による有害事象への対処：表 20

副作用様症状経験者 226 人に対し症状が発現した際の対処を尋ねたところ、特に手当てせず、自然に治るまで我慢した者が最も多く 94 人（41.6%）であった。医療機関を受診した（医師に相談した）者は最も少なく 11 人（4.9%）であった。

副作用様症状の発現後に医薬品を使用した 114 人の経過は、症状が改善したため、その後は何もしなかつた（様子を見た）者が半数以上の 65 人（57.0%）、症状が改善せず、再び薬局や薬店へ医薬品を買いに行った者が 41 人（36.0%）、治らない、または悪化したため医療機関を受診した者は 8 人（7.0%）であった。

副作用様症状を発現した際に医療機関を受診した者と、副作用様症状を発現した際に医薬品を使用した後、医療機関を受診した者の計 19 人の経過は、1 回の受診では済まず、通院が必要となった（医師から医薬品の処方があった）者が最も多く 8 人（42.1%）であった。また、入院が必要となった（手術

の必要は無かつた）が 1 人（5.3%）、入院が必要となった（手術が必要となった）が 1 人（5.3%）存在した。

## 21. 医薬品を個人輸入した際のトラブルと対処：表 21

個人輸入した際に困ったことはなかつたと回答した者は 810 人（77.7%）であったが、233 人（22.3%）は何らかの困ったことを経験していた。

個人輸入した際に経験した困ったことの内訳は、注文した個数より多く、または少なく届いたと回答した者が 74 人（7.1%）と最も多く、ネットなどで、あらかじめ見たものと、名前や箱のデザインが異なるものが届いた 66 人（6.3%）、料金を払ったが、注文したものが届かなかつた 50 人（4.8%）と続いた（複数回答）。

また、困ったことを経験した者 233 人に困ったことがあつた時にとつた行動を尋ねたところ、輸入代行業者に問い合わせたと回答した者が 76 人（32.6%）と最も多く、海外の医薬品販売業者に直接問い合わせた 61 人（26.2%）、消費者生活センターなどの消費者相談窓口相談した 60 人（25.8%）と続いた（複数回答）。一方、何もしなかつた者は 55 人（23.6%）であった。

## 22. 医薬品個人輸入経験者の健康状態と健康保持・増進活動：表 22

約半数の 567 人（54.4%）が調査時において健康であり、病院・診療所で治療を受けていないと回答した。一方、病院・診療所で治療を受けている者は 268 人（25.7%）であった。

健康の保持・増進のために日頃から行っていることについて、約半数の 541 人（51.9%）が食事に気をつけていると回答し

た（複数回答）。また、サプリメントや健康食品、医薬品（滋養強壮目的の医薬品など）を使用していると回答した者は 415 人（39.8%）であった（複数回答）。一方、その他の回答を除き、特に何も行っていないと回答した者は最も少なく 136 人（13.0%）であった（複数回答）。

### 23. 医薬品個人輸入経験者の個人輸入に関する知識・認識：表 23

個人輸入経験者 1,043 人のうち約半数が医薬品個人輸入のリスクとして、国内で品質や有効性、安全性が確認されていない、また、あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性があることを認識しており、それぞれ 585 人（56.1%）、508 人（48.7%）であった（複数回答）。一方、医薬品個人輸入のリスクについて、アンケートに表示した複数の具体的事項（表 23 における「医薬品個人輸入に関するリスクを知っている」、選択肢 1-5）の中に知っているものはないと回答した者が 167 人（16.0%）存在した。

医薬品を正しく使用しても生死にかかわるような重篤な副作用が起こる可能性があることを認識しているかについて、少し知っているという回答した者が最も多く 403 人（38.6%）、全く知らないという回答した者は 94 人（9.0%）であった。

医薬品を医師・歯科医師や薬剤師などの指導によらず、自己判断で使用することは危険だと思うかという問いに対し、約半数 554 人（53.1%）が少し思うと回答し、全く思わないと回答した者は 57 人（5.5%）であった。

「あやしいヤクヅツ連絡ネット」を知っているかという問いに、669 人（64.1%）が全く知らないという回答した。

### 24. 医薬品個人輸入経験者の今後の動向： 表 24-26

個人輸入経験者に対し今後の個人輸入予定を尋ねたところ、はい（予定する）と回答した者は 381 人（36.5%）、その性別の内訳は男性 262 人、女性 119 人、いいえ（予定しない）と回答した者は 279 人（26.7%）、その性別の内訳は男性 152 人、女性 127 人、わからないと回答した者は 383 人（36.7%）、その性別の内訳は男性 215 人、女性 168 人であった。個人輸入を予定すると回答した者は男性の方が、予定しない、あるいはわからないと回答した者は女性の方が有意に多かった。年齢に有意差は見られなかったが、今後も個人輸入を予定する者は 30 代が最も多く 88 人（23.1%）、次に 40 代、50 代と続き、それぞれ 84 人（22.0%）、83 人（21.8%）であった。また副作用様症状の経験有無において、経験のある者は個人輸入を予定するとの回答が、経験のない者はわからないとの回答が有意に多かった（表 24、表 25-1-25-2）。

今後も個人輸入を予定する者にその理由を尋ねたところ、値段が安いから、インターネットを利用して手軽に注文できるからと回答した者がそれぞれ 6 割以上存在し、243 人（63.8%）、235 人（61.7%）であった（複数回答）。海外で受けた治療を継続する必要があるからと回答した者は最も少なく 4 人（1.0%）であった（複数回答）。個人輸入予定の医薬品の用途で多かったのは、育毛・養毛 113 人（29.7%）、性機能の増強 100 人（26.2%）、美容 91 人（23.9%）、ダイエット 84 人（22.0%）であった（複数回答）（表 24）。

個人輸入した際の困ったことについて、個人輸入を予定すると回答した者では、個

人輸入した際に料金を支払ったが注文したものが届かなかった、注文した個数より多く、または少なく届いた、ネットなどであらかじめ見たものと名前や箱のデザインが異なるものが届いた、破損していた、箱や瓶に入っていなかったとのトラブルが有意に多く見られた（複数回答）（表 25-2）。

一方、医薬品の個人輸入を予定しない 279 人にその理由を尋ねたところ、海外の医薬品を使用する必要がなくなったと回答した者が 134 人（48.0%）と約半数を占めた（複数回答）（表 26）。

## 25. 医薬品個人輸入経験者の今後の動向と、個人輸入に関する知識・認識：表 27、表 28-1-28-12

個人輸入経験者のうち、今後も個人輸入を予定すると回答した 381 人、予定しないと回答した 279 人、およびわからないと回答した 383 人の 3 群で、個人輸入に関するリスク等を認識しているかを比較した。医薬品個人輸入のリスクとして、アンケートに表示した複数の具体的事項（表 27 における「医薬品個人輸入に関するリスクを知っている」の選択肢 1-5 のうち、選択肢 1-4）で、予定する者は、予定しない者およびわからない者に比べて認識しているとの回答が有意に多かった（複数回答）。また、医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があること認識しているとの回答、また医薬品を自己判断で使用することは危険だと思うとの回答においても、予定する者は、予定しない者およびわからない者に比べて有意に多かった。上述の認識している、危険だと思うとの回答を性別で見ると、男性および女性いずれも 20 代から 50 代に多く見られた（表 28-1-28-4）。

## D. 考察

### 1. 医薬品個人輸入の現状

医薬品の個人輸入経験者は、平成 20 年度の調査結果と比べ、男女比は（5.5 : 4.5）と大きな違いは見られなかったが、アンケートの有効回答者数に占める経験者の割合は 2 倍となり、インターネット利用者の約 10 人に 1 人が医薬品を個人輸入していることがわかった（表 2-1）。医薬品個人輸入経験者は、スクリーニング調査では 10 代女性ならびに 50 代男性において、本調査では 10 代および 20 代女性ならびに 40 代男性において有意に多かった（表 2-3、表 3-3）。医薬品個人輸入経験者を性別で比較した場合、スクリーニング調査および本調査いずれも男性が有意に多かった。男女全体における年齢においても有意差が見られ、スクリーニング調査では 20 代から 40 代、本調査では 30 代および 40 代が有意に多かった。（表 2-2、表 3-2）。本調査において、医療系の有資格者は 16.5%存在した（表 3-1、表 4）。

医薬品の個人輸入方法では、インターネット等を利用して注文した者が 85.5%存在した（表 5-1）。また、医薬品の個人輸入の動機に、回答者の半数がインターネットの手軽さや値段の安さを挙げ、海外で受けた治療を継続する必要があったからと回答した者は少なかった（表 17）。これらは平成 20 年度の調査と同様の結果であった。

医薬品の製品情報の入手方法では、輸入代行業者が提供する製品情報を見た、友人からの口コミ、インターネット上での製品情報や広告等を見て情報を得た者のほか、Twitter や Facebook、Instagram などの SNS から情報を得た者も存在した（表 15）。非公式サイトや SNS 等には、信頼性の疑わしい情

報が含まれている可能性があり、回答者が情報内容の吟味を行わず、誤った情報に基づいて医薬品を使用すれば、不適正使用や健康被害等につながるものが危惧される。

平成20年度の調査とほぼ同時期にiPhoneが我が国で発売されており、当時よりもスマートフォン所持率が大幅に上昇している現在[9]、時間や場所を問わずインターネットを利用できるというスマートフォンの特性が、医薬品の個人輸入の増加に少なからず影響していると推測された。

## 2. 個人輸入した医薬品の用途・使用効果

個人輸入した医薬品の用途は平成20年度の調査結果と同様、ダイエット、美容、育毛・養毛、性機能の増強など、生活改善目的のものが多かった(表5-1-5-2)。平成20年度の調査結果と比較したところ、ダイエット、美容、スマートドラッグ、アレルギーは有意に増加した一方、有意差はなかったが、性機能の増強、がん、睡眠は減少傾向が見られた。このうち性機能の増強に関しては、厚生労働省のホームページでは平成22年度より、性機能増強を目的とする勃起不全(ED)治療薬について、個人輸入で偽造品入手のリスクが極めて高いこと、また使用による有害事象の発生について報告、注意喚起がなされている[11]。国内で承認されているED治療薬の製造販売、販売を行う4社(ファイザー株式会社、バイエル薬品株式会社、日本新薬株式会社、日本イーライリリー株式会社)は平成28年、平成21年に続く2回目の調査結果として、インターネットで入手したED治療薬の約4割が偽造品であったと報告している[12]。また研究代表者木村らは平成29年、個人輸入により入手したED治療薬であるレビトラで模造品

の混入、異物混入の可能性などを報告している[4]。性機能の増強を目的とする医薬品を個人輸入した者が平成20年度の調査で多数存在していたことから、一般消費者の性機能の増強に対する関心は高かったと推測され、同時にこれらの注意喚起を目にする機会は少なくなかったと考えられる。性機能増強目的の個人輸入医薬品について関係各位が品質や真正性の調査を実施し、継続的な注意喚起を行ってきたことが、平成20年度と比べて性機能の増強目的に個人輸入する者が減少傾向となった可能性が考えられた。

個人輸入したいずれの用途においても、国内に類似薬があるとの回答が得られた(表10、図3)。また個人輸入を行う理由に、回答者の15.9%が他人に知られずに入手したいと回答した(表17)。特に生活改善目的の医薬品では、購入・使用することを他人に知られたくないという心理が働く可能性があり、国内に類似薬があることを知りながら、病院や薬局等に行かずとも手軽に注文できるインターネットの利用が好まれるのではないかと考えられる。しかし、医師や薬剤師等を介さずに医薬品を入手することは、必要時に医療機関を受診する機会を失ったり、副作用や合併症の診断・評価が遅れる可能性がある。また、個人輸入した医薬品に使用方法や注意事項が記載された文書が入っていなかった(入っていなかったこともあった)と回答した者が34.2%、一方、入っただけでも記載内容をよく理解できた(ことが多かった)と回答した者は20.0%にとどまった(表16)。これらのことから、生活改善薬を含め医薬品は医師等を介して入手することを徹底する必要があると考えられる。

個人輸入医薬品を使用した 28.2%の者が、期待した効果が得られなかったと回答しており（表 18）、これは平成 20 年度の調査結果と同様であった。期待した効果が得られなかった原因は不明だが、使用した医薬品の品質が不十分、あるいは偽造品だった可能性も否定できない。品質が十分でない医薬品、あるいは偽造品を入手する可能性のある現況下で、容易に個人輸入が行えてしまうことは危険だと考えられる。

### 3. 美容関連薬とスマートドラッグ

美容関連薬輸入者の男女比は（3：7）と女性が有意に多かった。年齢別では 10 代および 20 代が有意に多かった（表 11-1-11-2）。用途別では、日焼け・シミ予防、美白や、ニキビ治療など、主に皮膚に関する製品を個人輸入していた（表 11-1、図 6）。白斑治療目的に個人輸入した製品名に「ルミガン」の記載があった。「ルミガン」の成分であるビマトプロストは我が国において保険診療では緑内障の治療、自由診療では睫毛貧毛症の改善に用いられているが、ともに色素沈着の副作用が添付文書に記載され、注意喚起がなされている。個人輸入した医薬品の効能・効果を、回答者が正しく理解していたのか疑われるが、不適正使用を目的に個人輸入を行った一般消費者が存在した（表 12-1-12-2）。

スマートドラッグ輸入者の男女比は（8：2）と男性が有意に多く、女性の 4 倍であった。年齢別では 20 代が有意に多く約半数を占め、スマートドラッグは主に若い男性が個人輸入する傾向が見られた（表 13-1-13-2、図 7-8）。個人輸入した製品に厳格な管理、取り扱いが求められる第一種向精神薬の「モダフィニル」が含まれていた。また

「ピラセタム」「アニラセタム」などが含まれており、これらは平成 31 年 1 月 1 日より輸入規制の対象となっている医薬品であるが[10]、当該規制の開始から本調査までの期間が 2 ヶ月弱と短いため、規制開始前に個人輸入された可能性が高いと考えられる。記載件数が多かった「ピラセタム」は抗てんかん薬として用いられている医薬品であり、脳機能の向上目的の使用は不適正使用となるだけでなく、眠気や白内障等の副作用により日常生活への影響が生じる危険性がある。「カナビス」についてはカンナビスか否か不明だが、カンナビスであれば大麻取締法の規制対象となる（表 14-1-14-2）。

### 4. 個人輸入医薬品による有害事象とその対処

個人輸入医薬品による副作用様症状経験者は、平成 20 年度の調査時と比べ 1.4 倍だった（表 18）。個人輸入を行った約 5 人に 1 人が何らかの副作用様症状を経験しており、平成 20 年度の調査時よりも増えたのは、個人輸入経験者の増加が主因と考えられた。他方、医薬品個人輸入経験者の 79.6%が自己判断で医薬品を使用することは危険であると認識する一方（表 23）、実際の個人輸入にあたって、事前に医師や薬剤師等に相談した者は 28.0%と少なかった（表 17）。この矛盾も、個人輸入医薬品による副作用様症状の経験者数増加の要因と考えられる。

副作用様症状経験者が個人輸入していた医薬品の上位 4 つは、個人輸入経験者が多く輸入していた生活改善目的等の医薬品と同様であり、5 つ目にスマートドラッグが続いた。これら上位 5 つのうち、スマートドラッグでは、がんや性病と同様、医薬品の用途別購入者の半数以上に副作用様症状が見

られた（表 5-1、表 19-2、図 11）。このことから、スマートドラッグは他の用途に比べて副作用様症状発現の可能性が高いと推測され、個人輸入されるスマートドラッグがどのように使用されているのかの調査、また品質の検査も必要であると考えられる。

副作用様症状の発現後に医薬品を使用しても、治らない、または悪化したため医療機関を受診した者が存在した。また、副作用様症状を発現した際に医療機関を受診した者と、副作用様症状を発現した際に医薬品を使用した後、医療機関を受診した者の両者の経過では、1回の受診では済まず通院が必要となった者が最も多く、個人輸入医薬品による重篤な有害作用が生じていたことも明らかとなった。入院や手術が必要となったとの回答があったが、他の質問項目で整合性のない回答もあるため、当該回答はなりすましと疑われる（表 20）。

## 5. 今後の動向

医薬品個人輸入経験者の26.7%はこの先、個人輸入を予定しないと回答したが、36.5%は予定する、36.7%はわからないと回答した（表 24）。今後も個人輸入を予定すると回答した者は、平成 20 年度の調査結果の 2 倍だった。個人輸入を予定すると回答した者は、男性が女性よりも有意に多かった。さらに副作用様症状の経験がある者は非経験者に比べ個人輸入を予定するとの回答が有意に多く、副作用様症状経験がその後の個人輸入中止に必ずしもつながらないことが示唆された。また個人輸入した際に料金を支払ったが注文したものが届かなかった等のトラブルを経験しても、個人輸入を継続することもわかった（表 25-1-25-2）。今後も個人輸入を予定する者の理由は、値段が安い

から、インターネットを利用して手軽に注文できるからが多かった。個人輸入予定医薬品の用途で多かったのは、育毛・養毛、性機能の増強、美容、ダイエットであり、既に個人輸入した医薬品の用途と同様の結果であった。（表 5-1、表 24）。

現状に鑑みインターネット利用やスマートフォン所持率が低下していくことは考えにくく、今後も医薬品個人輸入を新たに検討、実施する者は現れると推測される。

## 6. 医薬品個人輸入に関する知識・認識

個人輸入経験者のうち、今後も個人輸入を予定する者は、予定しない、あるいはわからないと回答した者に比べ、医薬品個人輸入にリスクがある、医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性がある、医薬品を自己判断で使用することは危険であることをそれぞれ認識している割合が有意に高く、リスク等を認識していても個人輸入を続ける者が多く存在することが分かった（表 27）。

荒木らは平成 20 年度の調査における結論で、医薬品個人輸入を行う一般消費者は「輸入医薬品には偽造品や品質不良品が含まれる危険性がある」ならびに「輸入医薬品による過去の重大な健康被害がある」ことを知っており、医薬品個人輸入の抑制を目指したキャンペーンにこれら危険性に関する記述を単に含めるだけでは効果がないことを意味する、と指摘している[5]。対策にあたっては、この点を考慮する必要があると考えられる。

## 7. 本研究の限界

本研究における調査はインターネットリサーチ会社の登録会員を対象として行ったため、インターネットを利用する集団の中

で、さらに、インターネットリサーチ会社に登録している一部の集団が対象者となっている。インターネットを利用しない集団やインターネットリサーチ会社に登録していない集団は対象外となるため、この調査から得られた結果を単純に一般化することはできない。

また、回答者自身の記憶にたどった自己申告による回答であり、さらに、なりすましと疑われる回答が含まれているため、この調査結果は不確かさを含むものである。

## E. 結論

平成 30 年度における一般消費者の医薬品個人輸入の実態は、輸入方法は主にインターネット等が利用され、個人輸入された医薬品の用途はダイエット、美容、育毛・養毛、性機能の増強など生活改善目的のものが多かった。医薬品個人輸入の動機として多くの者がインターネットの手軽さや値段の安さを挙げ、海外で受けた治療の継続は少なく、これらは平成 20 年度の調査結果と同様であった。

一方、医薬品個人輸入経験者、個人輸入した医薬品による副作用様症状経験者、および医薬品個人輸入経験者で今後も個人輸入を予定する者、いずれも平成 20 年度の調査結果と比べ増加していた。また個人輸入に係るリスクを認識していても、今後も個人輸入を予定する者が多く存在し、さらに副作用様症状経験者は非経験者に比べ個人輸入を予定する者が多く、リスクの認識や副作用様症状経験がその後の個人輸入中止に必ずしもつながらないことが示唆された。

今後もインターネットを利用した医薬品の個人輸入者は増えることが予想され、そ

れに伴い個人輸入医薬品により副作用様症状を経験する者の増加が懸念される。また規制対象医薬品(成分)の個人輸入件数増加につながる可能性も否定できない。医薬品の個人輸入は、海外で受けた治療の継続、また治療上の緊急性があるにも関わらず当該医薬品が国内で販売されていないなどの状況に対して認められているものである。医薬品個人輸入の趣旨を国民に周知するとともに、素人判断で海外から医薬品を輸入し服用することは危険であることを繰り返し注意喚起することや、規制強化などを今後も講じていく必要があると考える。さらに個人輸入を多く行っている性別や年齢を考慮し、ターゲットを絞った対策を講じていくことは、効果的な方法の一つと考える。また中学校や高等学校での医薬品教育に医薬品個人輸入に関する内容も組み入れ、10代のうちに医薬品の適正使用などに関する知識を十分に修得させることも必要と考える。

## F. 研究発表

### 1. 学会発表

木山美佳, 吉田直子, 坪井宏仁, 秋本義雄, 木村和子, 大柳賀津夫, 医薬品個人輸入の実態調査, 日本薬学会第 140 年会, 2020 年 3 月(京都)

## G. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

## 参考文献

- [1] 厚生労働省, 個人輸入された未承認薬などによる健康被害等,  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iyakuhin/kojinyunyu](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/kojinyunyu)

- /index.html (2018年10月19日アクセス)
- [2] 平成18年度 厚生労働科学研究費補助金, 偽造医薬品防止対策を含めた医薬品個人輸入制度の研究報告書, 研究代表者 木村和子
- [3] 平成20~22年度 厚生労働科学研究費補助金, “医薬品等の個人輸入における保健衛生上の危害に関する研究報告書, 研究代表者 木村和子
- [4] 平成26~28年度 厚生労働科学研究費補助金, インターネットを通じて国際流通する医薬品の保健衛生と規制に関する調査研究報告書, 研究代表者 木村和子
- [5] 医薬品個人輸入に関する消費者の意識調査, 荒木理沙, 奥村順子, 赤沢学, 木村和子, 社会薬学 28(3); 134-135, 2010
- [6] 薬害オンブズパーソン会議, 美容目的の未承認医薬品に関する要望書, 代表 鈴木利廣 (2012年9月11日)
- [7] 薬害オンブズパーソン会議, 美容目的の未承認医薬品問題,  
<http://www.yakugai.gr.jp/inve/fileview.php?id=124> (2018年10月19日アクセス)
- [8] 第193回 国会厚生労働委員会, 薬師寺みちよ参議院議員, 2017年5月30日,  
[http://www.sangiin.go.jp/japanese/kaigijoho/shitsugi/193/s069\\_0019.html](http://www.sangiin.go.jp/japanese/kaigijoho/shitsugi/193/s069_0019.html) (2018年10月19日アクセス)
- [9] 総務省, 平成29年通信利用動向調査の結果〔平成29年通信利用動向調査ポイント〕(平成30年5月25日公表, 平成30年6月22日訂正)
- [10] 厚生労働省, 脳機能の向上等を標ぼうする医薬品等を個人輸入する場合の取扱いについて, 薬生監麻発1126第3号 (平成30年11月26日)
- [11] 厚生労働省, 個人輸入において注意すべき医薬品等について,  
<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/kojinyunyu/050609-1.html> (2019年9月3日アクセス)
- [12] ファイザー株式会社, バイエル薬品株式会社, 日本新薬株式会社, 日本イーライリリー株式会社, インターネットで入手したED治療薬の約4割が偽造品, [http://www.nippon-shinyaku.co.jp/official/company/news/20161124\\_news.pdf](http://www.nippon-shinyaku.co.jp/official/company/news/20161124_news.pdf) (2016年11月24日)



表 1. [スクリーニング調査] 回答者の属性

	男性		女性		合計	
	n	%	n	%	n	%
1. 15～19 才	447	2.7	1,289	7.8	1,736	10.5
2. 20～29 才	1,334	8.1	1,501	9.1	2,835	17.1
3. 30～39 才	1,500	9.1	1,500	9.1	3,000	18.1
4. 40～49 才	1,500	9.1	1,500	9.1	3,000	18.1
5. 50～59 才	1,500	9.1	1,500	9.1	3,000	18.1
6. 60 才以上	1,500	9.1	1,500	9.1	3,000	18.1
合計	7,781	47.0	8,790	53.0	16,571	100
			n	%		
<b>職業</b>						
1. 農業・林業・漁業・鉱業			116	0.7		
2. 建設業・製造業・鉄鋼業			1,787	10.8		
3. 出版・印刷関連産業			114	0.7		
4. 電気・ガス・熱供給・水道業			170	1.0		
5. 運送・輸送業			505	3.0		
6. 旅行業・サービス業			450	2.7		
7. 電気通信業・放送業			137	0.8		
8. 卸売・小売業			1,160	7.0		
9. 飲食業			363	2.2		
10. 金融業・保険業・不動産業			645	3.9		
11. ソフトウェア・情報サービス			531	3.2		
12. 調査業・広告代理業			20	0.1		
13. 医療業			673	4.1		
14. 福祉・介護関連			509	3.1		
15. 協同組合・教育関連・公務員			1,057	6.4		
16. その他			2,281	13.8		
17. 勤めていない（専業主婦、学生を含む）			6,053	36.5		

n=16,571

表 2-1. [スクリーニング調査] 医薬品個人輸入の経験

	n		%			
医薬品を個人輸入したことがある (n=16,571)						
1. はい	1,718		10.4			
2. いいえ*	14,853		89.6			
-----						
医薬品個人輸入経験者の属性 (n=1,718)	男性		女性		合計	
	n	%	n	%	n	%
1. 15～19 才	50	2.9	110	6.4	160	9.3
2. 20～29 才	188	10.9	156	9.1	344	20.0
3. 30～39 才	200	11.6	164	9.6	364	21.2
4. 40～49 才	202	11.8	145	8.4	347	20.2
5. 50～59 才	178	10.4	116	6.8	294	17.1
6. 60 才以上	121	7.0	88	5.1	209	12.2
合計	939	54.7	779	45.3	1718	100
-----						
医薬品を個人輸入したことがない理由 (n=14,853、複数回答)						
1. 海外の医薬品を使用する必要がなかった	10,008		67.4			
2. 医薬品の個人輸入の制度を知らなかった	2,988		20.1			
3. 海外の医薬品の品質や有効性、安全性に不安があるから	3,057		20.6			
4. 海外の医薬品は偽造品であるかもしれないから	2,005		13.5			
5. 海外の医薬品を使用すると、副作用が起きても「医薬品副作用被害救済制度」の対象にならないから	1,088		7.3			
6. 海外の医薬品は健康保険制度の対象でないから	1,257		8.5			
7. 通信販売を利用しないから	3,124		21.0			
8. その他	185		1.2			

\* 医師や歯科医師の方で、自己の患者の治療や診断などに使用する目的でのみ海外から医薬品等の製品を輸入した場合は、「いいえ」を選択するよう質問文に明記した

表 2-2. [スクリーニング調査] 個人輸入経験者および非経験者 (詳細)

		医薬品個人輸入の経験						p 値*
		有 (n=1,718)			無 (n=14,853)			
		n	%	a	n	%	a	
性別								
1.	男性	939	54.7	6.8	6,842	46.1	-6.8	<0.001
2.	女性	779	45.3	-6.8	8,011	53.9	6.8	
年齢								
1.	15~19 才	160	9.3	-1.7	1,576	10.6	1.7	<0.001
2.	20~29 才	344	20.0	3.4	2,491	16.8	-3.4	
3.	30~39 才	364	21.2	3.5	2,636	17.7	-3.5	
4.	40~49 才	347	20.2	2.4	2,653	17.9	-2.4	
5.	50~59 才	294	17.1	-1.1	2,706	18.2	1.1	
6.	60 才以上	209	12.2	-6.8	2,791	18.8	6.8	

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p<0.05$

a 調整済み残差 ( $p<0.05$  水準で  $\pm 1.96$  以上)

表 2-3. [スクリーニング調査] 医薬品個人輸入経験者の属性 (詳細)

	男性			女性			p 値*
	n	%	a	n	%	a	
1. 15～19 才	50	2.9	-6.2	110	6.4	6.2	<0.001
2. 20～29 才	188	10.9	0	156	9.1	0	
3. 30～39 才	200	11.6	0.1	164	9.6	-0.1	
4. 40～49 才	202	11.8	1.5	145	8.4	-1.5	
5. 50～59 才	178	10.4	2.2	116	6.8	-2.2	
6. 60 才以上	121	7.0	1.0	88	5.1	-1.0	
合計	939	54.7		779	45.3		

n=1,718

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p<0.05$

a 調整済み残差 ( $p<0.05$  水準で $\pm 1.96$  以上)

表 3-1. [本調査] 医薬品個人輸入経験者の属性

	男性		女性		合計	
	n	%	n	%	n	%
1. 15～19 才	13	1.2	34	3.3	47	4.5
2. 20～29 才	100	9.6	86	8.2	186	17.8
3. 30～39 才	145	13.9	102	9.8	247	23.7
4. 40～49 才	151	14.5	77	7.4	228	21.9
5. 50～59 才	138	13.2	71	6.8	209	20.0
6. 60 才以上	82	7.9	44	4.2	126	12.1
合計	629	60.3	414	39.7	1,043	100

	n	%
職業		
1. 農業・林業・漁業・鉱業	13	1.2
2. 建設業・製造業・鉄鋼業	133	12.8
3. 出版・印刷関連産業	13	1.2
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	26	2.5
5. 運送・輸送業	44	4.2
6. 旅行業・サービス業	37	3.5
7. 電気通信業・放送業	14	1.3
8. 卸売・小売業	61	5.8
9. 飲食業	23	2.2
10. 金融業・保険業・不動産業	65	6.2
11. ソフトウェア・情報サービス	42	4.0
12. 調査業・広告代理業	0	0
13. 医療業	55	5.3
14. 福祉・介護関連	42	4.0
15. 協同組合・教育関連・公務員	73	7.0
16. その他	157	15.1
17. 勤めていない（専業主婦、学生を含む）	245	23.5

n=1,043

表 3-2. [本調査] 個人輸入経験者および非経験者 (詳細)

	医薬品個人輸入の経験						p 値*
	有 (n=1,043)			無 (n=14,853)			
	n	%	a	n	%	a	
性別							
1. 男性	629	60.3	8.9	6,842	46.1	-8.9	<0.001
2. 女性	414	39.7	-8.9	8,011	53.9	8.9	
年齢							
1. 15~19 才	47	4.5	-6.3	1,576	10.6	6.3	<0.001
2. 20~29 才	186	17.8	0.9	2,491	16.8	-0.9	
3. 30~39 才	247	23.7	4.8	2,636	17.7	-4.8	
4. 40~49 才	228	21.9	3.2	2,653	17.9	-3.2	
5. 50~59 才	209	20.0	1.5	2,706	18.2	-1.5	
6. 60 才以上	126	12.1	-5.4	2,791	18.8	5.4	

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p < 0.05$

a 調整済み残差 ( $p < 0.05$  水準で  $\pm 1.96$  以上)

表 3-3. [本調査] 個人輸入経験者の属性 (詳細)

	男性			女性			p 値*
	n	%	a	n	%	a	
1. 15～19 才	13	1.2	-4.7	34	3.3	4.7	<0.001
2. 20～29 才	100	9.6	-2.0	86	8.2	2.0	
3. 30～39 才	145	13.9	-0.6	102	9.8	0.6	
4. 40～49 才	151	14.5	2.1	77	7.4	-2.1	
5. 50～59 才	138	13.2	1.9	71	6.8	-1.9	
6. 60 才以上	82	7.9	1.2	44	4.2	-1.2	
合計	629	60.3		414	39.7		

n=1,043

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p<0.05$

a 調整済み残差 ( $p<0.05$  水準で $\pm 1.96$  以上)

表 4. 医療系資格の有無・内訳

	n	%
医療系資格の内訳（表 3-1 において医療業を選択した 55 人、複数回答）		
1. 医師・歯科医師	8	14.5
2. 薬剤師	5	9.1
3. 保健師・助産師・看護師	12	21.8
4. その他	14	25.5
5. 持っていない	16	29.1
医療系の資格を持っている（表 3-1 において医療業以外を選択した 988 人）		
1. はい	133	13.5
2. いいえ	855	86.5
医療系資格の内訳 （表 3-1 において医療業以外を選択、かつ医療系の資格を持っている 133 人、複数回答）		
1. 医師・歯科医師	30	22.6
2. 薬剤師	51	38.3
3. 保健師・助産師・看護師	40	30.1
4. その他	28	21.1



表 5-1. 医薬品個人輸入に関して

	n	%
医薬品の個人輸入方法 (n=1,043、複数回答)		
1. 日本国内から、インターネットや電話、ファックスなどを利用して注文した	892	85.5
2. 自ら海外で購入して、日本国内に持ち帰った	143	13.7
3. 自ら海外で購入し、海外から日本国内の自分の住所に送った	56	5.4
4. その他	44	4.2
医薬品の注文方法 (n=892、複数回答)		
1. 輸入代行業者*を利用した	694	77.8
2. 海外の販売業者に直接注文し、代金を自ら海外に送金して支払った	100	11.2
3. 輸入代行業者を利用したのか、海外の販売会社に直接だったのかわからない	149	16.7
4. その他	2	0.2
個人輸入した医薬品の用途 (n=1,043、複数回答)		
1. ダイエット	246	23.6
2. 美容	232	22.2
3. スマートドラッグ	62	5.9
4. 育毛・養毛	204	19.6
5. 性機能の増強	194	18.6
6. 避妊	81	7.8
7. 性病	35	3.4
8. 性病以外の感染症	41	3.9
9. がん	17	1.6
10. うつ・不安など精神系	47	4.5
11. アレルギー	83	8.0
12. 睡眠	77	7.4
13. 滋養・強壮	100	9.6
14. 歯のホワイトニング	75	7.2
15. その他	160	15.3

\* 「消費者からの注文に基づいて、海外から医薬品が消費者の元に届くよう、海外の販売業者への発注や代金の支払い等の手続を請け負う業者」との説明を選択肢に明記した

表 5-2. 個人輸入した医薬品に関する平成 30 年度用途調査と平成 20 年度購入薬調査との比較\*1

回答の選択肢*2 上段：平成 30 年度用途調査 (下段：平成 20 年度購入薬調査)		平成 30 年度用途調査 (n=1,043)	平成 20 年度購入薬調 査 (n=663)	p 値*3
ダイエット (ダイエット関連薬)	n %	246 23.6	121 18.3	0.009
美容 (美容関連薬)	n %	232 22.2	93 14.0	<0.001
スマートドラッグ (スマートドラッグ)	n %	62 5.9	15 2.3	<0.001
育毛・養毛 (育毛・養毛薬)	n %	204 19.6	122 18.4	0.570
性機能の増強 (性機能増強薬)	n %	194 18.6	146 22.0	0.093
避妊 (避妊関連薬)	n %	81 7.8	38 5.7	0.119
性病 (性感染症治療薬)	n %	35 3.4	18 2.7	0.474
性病以外の感染症 (感染症治療薬)	n %	41 3.9	20 3.0	0.349
がん (がん関連薬)	n %	17 1.6	18 2.7	0.161
うつ・不安など精神系 (うつ関連薬)	n %	47 4.5	24 3.6	0.384
アレルギー (アレルギー関連薬)	n %	83 8.0	33 5.0	0.018
睡眠 (催眠鎮静薬)	n %	77 7.4	63 9.5	0.124
その他 (その他)	n %	160 15.3	159 24.0	<0.001

\*1 いずれも複数回答、平成 30 年度用途調査で新たに追加した項目「滋養・強壮」および「歯のホワイトニング」は比較対象に含めなかった

\*2 医薬品個人輸入に関する質問文：

平成 30 年度用途調査「どの用途のものを個人輸入したことがありますか？」

平成 20 年度購入薬調査「なにを個人輸入しましたか？」 [5]

\*3 Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p < 0.05$

表 6-1. 年代別・個人輸入医薬品の用途（複数回答）《n》

個人輸入した 医薬品の用途	全年代 (男女) (n=1,043)	年齢					
		10代 (n=47)	20代 (n=186)	30代 (n=247)	40代 (n=228)	50代 (n=209)	60代以上 (n=126)
ダイエット	246	19	61	52	56	37	21
美容	232	20	61	54	50	30	17
スマートドラッグ	62	2	29	17	7	4	3
育毛・養毛	204	3	20	56	60	43	22
性機能の増強	194	3	23	45	35	51	37
避妊	81	4	28	28	15	3	3
性病	35	1	15	10	8	1	0
性病以外の感染症	41	2	6	12	8	5	8
がん	17	0	8	2	4	3	0
うつ・不安など精神系	47	3	10	12	14	7	1
アレルギー	83	4	19	14	23	19	4
睡眠	77	3	15	20	16	17	6
滋養・強壮	100	2	9	23	25	19	22
歯のホワイトニング	75	8	16	17	13	12	9
その他	160	1	19	35	32	46	27

表 6-2. 年代別・個人輸入医薬品の用途（複数回答）《%》

個人輸入した 医薬品の用途	全年代 (男女) (n=1,043)	年齢					
		10代 (n=47)	20代 (n=186)	30代 (n=247)	40代 (n=228)	50代 (n=209)	60代以上 (n=126)
ダイエット	23.6	40.4	32.8	21.1	24.6	17.7	16.7
美容	22.2	42.6	32.8	21.9	21.9	14.4	13.5
スマートドラッグ	5.9	4.3	15.6	6.9	3.1	1.9	2.4
育毛・養毛	19.6	6.4	10.8	22.7	26.3	20.6	17.5
性機能の増強	18.6	6.4	12.4	18.2	15.4	24.4	29.4
避妊	7.8	8.5	15.1	11.3	6.6	1.4	2.4
性病	3.4	2.1	8.1	4.0	3.5	0.5	0
性病以外の感染症	3.9	4.3	3.2	4.9	3.5	2.4	6.3
がん	1.6	0	4.3	0.8	1.8	1.4	0
うつ・不安など精神系	4.5	6.4	5.4	4.9	6.1	3.3	0.8
アレルギー	8.0	8.5	10.2	5.7	10.1	9.1	3.2
睡眠	7.4	6.4	8.1	8.1	7.0	8.1	4.8
滋養・強壮	9.6	4.3	4.8	9.3	11.0	9.1	17.5
歯のホワイトニング	7.2	17.0	8.6	6.9	5.7	5.7	7.1
その他	15.3	2.1	10.2	14.2	14.0	22.0	21.4

表 6-3. 男性の年代別・個人輸入医薬品の用途（複数回答）《n》

個人輸入した 医薬品の用途	全年代 (男性) (n=629)	年齢					
		10代 (n=13)	20代 (n=100)	30代 (n=145)	40代 (n=151)	50代 (n=138)	60代以上 (n=82)
ダイエット	139	5	34	34	32	25	9
美容	72	5	22	16	16	9	4
スマートドラッグ	50	1	25	15	6	1	2
育毛・養毛	171	3	14	51	53	35	15
性機能の増強	178	2	19	42	33	47	35
避妊	26	1	7	8	7	1	2
性病	29	1	11	9	7	1	0
性病以外の感染症	27	2	3	8	6	4	4
がん	12	0	5	2	3	2	0
うつ・不安など精神系	36	1	6	10	12	6	1
アレルギー	53	1	12	8	18	11	3
睡眠	48	1	11	14	11	8	3
滋養・強壮	85	2	8	22	23	16	14
歯のホワイトニング	40	4	9	9	8	5	5
その他	78	1	7	13	19	23	15

表 6-4. 男性の年代別・個人輸入医薬品の用途（複数回答）《%》

個人輸入した 医薬品の用途	全年代 (男性) (n=629)	年齢					
		10代 (n=13)	20代 (n=100)	30代 (n=145)	40代 (n=151)	50代 (n=138)	60代以上 (n=82)
ダイエット	22.1	38.5	34.0	23.4	21.2	18.1	11.0
美容	11.4	38.5	22.0	11.0	10.6	6.5	4.9
スマートドラッグ	7.9	7.7	25.0	10.3	4.0	0.7	2.4
育毛・養毛	27.2	23.1	14.0	35.2	35.1	25.4	18.3
性機能の増強	28.3	15.4	19.0	29.0	21.9	34.1	42.7
避妊	4.1	7.7	7.0	5.5	4.6	0.7	2.4
性病	4.6	7.7	11.0	6.2	4.6	0.7	0
性病以外の感染症	4.3	15.4	3.0	5.5	4.0	2.9	4.9
がん	1.9	0	5.0	1.4	2.0	1.4	0
うつ・不安など精神系	5.7	7.7	6.0	6.9	7.9	4.3	1.2
アレルギー	8.4	7.7	12.0	5.5	11.9	8.0	3.7
睡眠	7.6	7.7	11.0	9.7	7.3	5.8	3.7
滋養・強壮	13.5	15.4	8.0	15.2	15.2	11.6	17.1
歯のホワイトニング	6.4	30.8	9.0	6.2	5.3	3.6	6.1
その他	12.4	7.7	7.0	9.0	12.6	16.7	18.3

表 6-5. 女性の年代別・個人輸入医薬品の用途（複数回答）《n》

個人輸入した 医薬品の用途	全年代 (女性) (n=414)	年齢					
		10代 (n=34)	20代 (n=86)	30代 (n=102)	40代 (n=77)	50代 (n=71)	60代以上 (n=44)
ダイエット	107	14	27	18	24	12	12
美容	160	15	39	38	34	21	13
スマートドラッグ	12	1	4	2	1	3	1
育毛・養毛	33	0	6	5	7	8	7
性機能の増強	16	1	4	3	2	4	2
避妊	55	3	21	20	8	2	1
性病	6	0	4	1	1	0	0
性病以外の感染症	14	0	3	4	2	1	4
がん	5	0	3	0	1	1	0
うつ・不安など精神系	11	2	4	2	2	1	0
アレルギー	30	3	7	6	5	8	1
睡眠	29	2	4	6	5	9	3
滋養・強壮	15	0	1	1	2	3	8
歯のホワイトニング	35	4	7	8	5	7	4
その他	82	0	12	22	13	23	12

表 6-6. 女性の年代別・個人輸入医薬品の用途（複数回答）《%》

個人輸入した 医薬品の用途	全年代 (女性) (n=414)	年齢					
		10代 (n=34)	20代 (n=86)	30代 (n=102)	40代 (n=77)	50代 (n=71)	60代以上 (n=44)
ダイエット	25.8	41.2	31.4	17.6	31.2	16.9	27.3
美容	38.6	44.1	45.3	37.3	44.2	29.6	29.5
スマートドラッグ	2.9	2.9	4.7	2.0	1.3	4.2	2.3
育毛・養毛	8.0	0	7.0	4.9	9.1	11.3	15.9
性機能の増強	3.9	2.9	4.7	2.9	2.6	5.6	4.5
避妊	13.3	8.8	24.4	19.6	10.4	2.8	2.3
性病	1.4	0	4.7	1.0	1.3	0	0
性病以外の感染症	3.4	0	3.5	3.9	2.6	1.4	9.1
がん	1.2	0	3.5	0	1.3	1.4	0
うつ・不安など精神系	2.7	5.9	4.7	2.0	2.6	1.4	0
アレルギー	7.2	8.8	8.1	5.9	6.5	11.3	2.3
睡眠	7.0	5.9	4.7	5.9	6.5	12.7	6.8
滋養・強壮	3.6	0	1.2	1.0	2.6	4.2	18.2
歯のホワイトニング	8.5	11.8	8.1	7.8	6.5	9.9	9.1
その他	19.8	0	14.0	21.6	16.9	32.4	27.3

表 7. 医薬品個人輸入代行を行うインターネットサイト名

自由記載による複数回答（上位 3 件まで）（n=470, 593 件）	n
回答 1	112
回答 2	38
回答 3	32
回答 4	28
回答 5	23
回答 6	19
回答 7	18
回答 8	17
回答 9	16
回答 10	15
回答 11	9
回答 12	8
回答 13	8
回答 14	8
回答 15	7
回答 16	6
回答 17	5
回答 18	4
回答 19	4
回答 20	4
回答 21	3
回答 22	3
回答 23	3
回答 24	3
<u>以下 n=2 の回答</u>	
回答 25	回答 35
回答 26	回答 36
回答 27	回答 37
回答 28	回答 38
回答 29	回答 39
回答 30	回答 40
回答 31	回答 41
回答 32	回答 42
回答 33	回答 43
回答 34	

以下 n=1 の回答

回答 44	回答 74	回答 104
回答 45	回答 75	回答 105
回答 46	回答 76	回答 106
回答 47	回答 77	回答 107
回答 48	回答 78	回答 108
回答 49	回答 79	回答 109
回答 50	回答 80	回答 110
回答 51	回答 81	回答 111
回答 52	回答 82	回答 112
回答 53	回答 83	回答 113
回答 54	回答 84	回答 114
回答 55	回答 85	回答 115
回答 56	回答 86	回答 116
回答 57	回答 87	回答 117
回答 58	回答 88	回答 118
回答 59	回答 89	回答 119
回答 60	回答 90	回答 120
回答 61	回答 91	
回答 62	回答 92	
回答 63	回答 93	
回答 64	回答 94	
回答 65	回答 95	
回答 66	回答 96	
回答 67	回答 97	
回答 68	回答 98	
回答 69	回答 99	
回答 70	回答 100	
回答 71	回答 101	
回答 72	回答 102	
回答 73	回答 103	

わからない、忘れた等 57

その他（人名、解釈不能な文字列等） 28

※ 選択式による単一回答（n=573）

選択肢：特に決まっていない、またはわからない 573

表 8. 医薬品個人輸入の頻度（医薬品の用途別）

どのくらいの頻度で 個人輸入をしたか		一回のみ	一 か 月 以 内 ご と に 繰 り 返 し お お む ね	二 三 か 月 以 内 ご と に 繰 り 返 し お お む ね	半 年 以 内 ご と に 繰 り 返 し お お む ね	半 年 以 上 ご と に 繰 り 返 し お お む ね	半 年 以 上 ご と に 繰 り 返 し お お む ね	その他
1. ダイエット (n=246)	n	112	45	45	25	18	1	
	%	45.5	18.3	18.3	10.2	7.3	0.4	
2. 美容 (n=232)	n	109	27	29	37	30	0	
	%	47.0	11.6	12.5	15.9	12.9	0	
3. スマートドラッグ (n=62)	n	14	17	16	9	6	0	
	%	22.6	27.4	25.8	14.5	9.7	0	
4. 育毛・養毛 (n=204)	n	44	19	57	51	32	1	
	%	21.6	9.3	27.9	25.0	15.7	0.5	
5. 性機能の増強 (n=194)	n	70	11	26	30	56	1	
	%	36.1	5.7	13.4	15.5	28.9	0.5	
6. 避妊 (n=81)	n	27	6	18	18	12	0	
	%	33.3	7.4	22.2	22.2	14.8	0	
7. 性病 (n=35)	n	13	5	6	4	7	0	
	%	37.1	14.3	17.1	11.4	20.0	0	
8. 性病以外の感染症 (n=41)	n	18	5	3	5	10	0	
	%	43.9	12.2	7.3	12.2	24.4	0	
9. がん (n=17)	n	6	4	3	1	3	0	
	%	35.3	23.5	17.6	5.9	17.6	0	
10. うつ・不安など精神系 (n=47)	n	19	5	11	6	6	0	
	%	40.4	10.6	23.4	12.8	12.8	0	
11. アレルギー (n=83)	n	28	7	12	14	22	0	
	%	33.7	8.4	14.5	16.9	26.5	0	
12. 睡眠 (n=77)	n	31	9	16	10	11	0	
	%	40.3	11.7	20.8	13.0	14.3	0	
13. 滋養・強壮 (n=100)	n	42	15	12	19	12	0	
	%	42.0	15.0	12.0	19.0	12.0	0	
14. 歯のホワイトニング (n=75)	n	37	11	10	4	13	0	
	%	49.3	14.7	13.3	5.3	17.3	0	
15. その他 (n=160)	n	67	7	16	13	30	27	
	%	41.9	4.4	10.0	8.1	18.8	16.9	



表 9. 医薬品個人輸入の期間 (医薬品の用途別)

個人輸入した期間は どれくらいですか		一 回 の み	( 〽 半 年 ) 継 続 的 に	( 〽 一 年 ) 継 続 的 に	( 〽 二 年 ) 継 続 的 に	( 〽 三 年 ) 継 続 的 に	( 〽 四 年 ) 継 続 的 に	( 〽 五 年 を 超 え て ) 継 続 的 に	そ の 他
1. ダイエット (n=246)	n	102	46	48	24	14	12	0	
	%	41.5	18.7	19.5	9.8	5.7	4.9	0	
2. 美容 (n=232)	n	105	36	34	43	4	10	0	
	%	45.3	15.5	14.7	18.5	1.7	4.3	0	
3. スマートドラッグ (n=62)	n	14	12	19	11	5	1	0	
	%	22.6	19.4	30.6	17.7	8.1	1.6	0	
4. 育毛・養毛 (n=204)	n	42	24	44	40	15	38	1	
	%	20.6	11.8	21.6	19.6	7.4	18.6	0.5	
5. 性機能の増強 (n=194)	n	68	14	29	42	14	26	1	
	%	35.1	7.2	14.9	21.6	7.2	13.4	0.5	
6. 避妊 (n=81)	n	26	10	12	22	5	6	0	
	%	32.1	12.3	14.8	27.2	6.2	7.4	0	
7. 性病 (n=35)	n	10	7	8	5	3	2	0	
	%	28.6	20.0	22.9	14.3	8.6	5.7	0	
8. 性病以外の感染症 (n=41)	n	18	4	7	9	2	1	0	
	%	43.9	9.8	17.1	22.0	4.9	2.4	0	
9. がん (n=17)	n	4	4	3	3	2	1	0	
	%	23.5	23.5	17.6	17.6	11.8	5.9	0	
10. うつ・不安など精神系 (n=47)	n	18	8	8	6	2	5	0	
	%	38.3	17.0	17.0	12.8	4.3	10.6	0	
11. アレルギー (n=83)	n	30	9	9	19	8	7	1	
	%	36.1	10.8	10.8	22.9	9.6	8.4	1.2	
12. 睡眠 (n=77)	n	31	13	8	16	4	5	0	
	%	40.3	16.9	10.4	20.8	5.2	6.5	0	
13. 滋養・強壮 (n=100)	n	37	14	18	17	5	9	0	
	%	37.0	14.0	18.0	17.0	5.0	9.0	0	
14. 歯のホワイトニング (n=75)	n	39	14	7	7	5	3	0	
	%	52.0	18.7	9.3	9.3	6.7	4.0	0	
15. その他 (n=160)	n	66	12	19	21	6	9	27	
	%	41.3	7.5	11.9	13.1	3.8	5.6	16.9	

表 10. 国内類似薬の有無 (医薬品の用途別)

国内に類似薬はあるか		ある	ない	わからない
1. ダイエット	n	82	61	103
(n=246)	%	33.3	24.8	41.9
2. 美容	n	95	41	96
(n=232)	%	40.9	17.7	41.4
3. スマートドラッグ	n	25	23	14
(n=62)	%	40.3	37.1	22.6
4. 育毛・養毛	n	128	32	44
(n=204)	%	62.7	15.7	21.6
5. 性機能の増強	n	122	27	45
(n=194)	%	62.9	13.9	23.2
6. 避妊	n	61	10	10
(n=81)	%	75.3	12.3	12.3
7. 性病	n	23	6	6
(n=35)	%	65.7	17.1	17.1
8. 性病以外の感染症	n	28	5	8
(n=41)	%	68.3	12.2	19.5
9. がん	n	7	7	3
(n=17)	%	41.2	41.2	17.6
10. うつ・不安など精神系	n	29	8	10
(n=47)	%	61.7	17.0	21.3
11. アレルギー	n	54	15	14
(n=83)	%	65.1	18.1	16.9
12. 睡眠	n	44	17	16
(n=77)	%	57.1	22.1	20.8
13. 滋養・強壮	n	46	20	34
(n=100)	%	46.0	20.0	34.0
14. 歯のホワイトニング	n	34	14	27
(n=75)	%	45.3	18.7	36.0
15. その他	n	94	24	42
(n=160)	%	58.8	15.0	26.3

表 11-1. 「美容関連薬」個人輸入経験者の属性と用途

	男性		女性		合計	
	n	%	n	%	n	%
年齢						
1. 15～19 才	5	2.2	15	6.5	20	8.6
2. 20～29 才	22	9.5	39	16.8	61	26.3
3. 30～39 才	16	6.9	38	16.4	54	23.3
4. 40～49 才	16	6.9	34	14.7	50	21.6
5. 50～59 才	9	3.9	21	9.1	30	12.9
6. 60 才以上	4	1.7	13	5.6	17	7.3
合計	72	31.0	160	69.0	232	100
美容関連薬の用途 (n=232、複数回答)						
1. ニキビ治療	35	15.1	33	14.2	68	29.3
2. 角化・乾癬治療	8	3.4	4	1.7	12	5.2
3. 白斑治療	5	2.2	5	2.2	10	4.3
4. 日焼け・シミ予防、美白	13	5.6	58	25.0	71	30.6
5. しわ・たるみ予防	11	4.7	19	8.2	30	12.9
6. 保湿	10	4.3	17	7.3	27	11.6
7. 脱毛	7	3.0	4	1.7	11	4.7
8. 豊胸	5	2.2	7	3.0	12	5.2
9. 老化防止・若返り	7	3.0	17	7.3	24	10.3
10. その他	12	5.2	39	16.8	51	22.0

n=232

表 11-2. 「美容関連薬」個人輸入経験者および非経験者（詳細）

	美容関連薬の購入経験						p 値*
	有 (n=232)			無 (n=811)			
	n	%	a	n	%	a	
性別							
1. 男性	72	31.0	-10.3	557	68.7	10.3	<0.001
2. 女性	160	69.0	10.3	254	31.3	-10.3	
年齢							
1. 15～19 才	20	8.6	3.4	27	3.3	-3.4	<0.001
2. 20～29 才	61	26.3	3.8	125	15.4	-3.8	
3. 30～39 才	54	23.3	-0.2	193	23.8	0.2	
4. 40～49 才	50	21.6	-0.1	178	21.9	0.1	
5. 50～59 才	30	12.9	-3.1	179	22.1	3.1	
6. 60 才以上	17	7.3	-2.5	109	13.4	2.5	

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p<0.05$

a 調整済み残差 ( $p<0.05$  水準で  $\pm 1.96$  以上)

表 12-1. 美容関連薬の製品名

1 ニキビ治療	2 角化・乾癬治療	3 白斑治療	4 日焼け・シミ予防、美白	5 しわ・たるみ予防	6 保湿	7 脱毛	8 豊胸	9 老化防止・若返り	10 その他	性別	年代	都道府県	職業
				Egh						男性	10代	北海道	学生
									ビタミン剤	男性	10代	京都府	学生
			日焼け止め							男性	10代	兵庫県	学生
わからない	わからない									男性	10代	秋田県	パート・アルバイト
ヒルロイド										男性	10代	埼玉県	学生
クレアラシル										女性	10代	福岡県	学生
Dr.Jart+			Dr.Jart+							女性	10代	広島県	学生
			ビタミンc						ビオチン オメガ3 カリウム	女性	10代	栃木県	学生
						アイボーテ				女性	10代	大阪府	学生
				バック						女性	10代	熊本県	専業主婦(主夫)
									ビタミン剤	女性	10代	千葉県	パート・アルバイト
Aレットジェル			レチンAクリーム				プレストサクセスカプセル			女性	10代	埼玉県	学生
わからない										女性	10代	東京都	学生
			リブライセル							女性	10代	広島県	学生
					オイル					女性	10代	大阪府	学生
覚えてない										女性	10代	栃木県	学生
Biore										女性	10代	北海道	無職
					Easy dew EX モイスチャーエッセセンシャルミスト					女性	10代	山形県	学生
わずれた										女性	10代	長野県	学生
									覚えてない	女性	10代	北海道	学生
ロアキュタン										男性	20代	岡山県	パート・アルバイト
				外用薬トレチノイン						男性	20代	北海道	会社員(その他)
						リアップ				男性	20代	愛知県	会社員(その他)
									わからない	男性	20代	千葉県	その他
覚えていない										男性	20代	千葉県	会社員(事務系)
特に										男性	20代	東京都	学生
					ユーセリン 乾燥肌セラピーオリジナル保湿ローション					男性	20代	栃木県	会社員(その他)
			transamint							男性	20代	東京都	会社員(技術系)
									歯のホワイティング系	男性	20代	埼玉県	会社員(その他)
わからない		わからない								男性	20代	新潟県	学生
わからない										男性	20代	山梨県	会社員(事務系)

アポスティ											男性	20代	福岡県	学生
ニベア											男性	20代	広島県	会社員(その他)
jkkxjdjd	ずjizj	zizjz	djsj	dっっiz							男性	20代	東京都	会社員(事務系)
ベビオ	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	男性	20代	山口県	会社員(技術系)
覚えていない											男性	20代	福岡県	会社員(事務系)
ロアキュタン											男性	20代	東京都	学生
製品名は思い出せない											男性	20代	三重県	会社員(事務系)
アトリックス											男性	20代	沖縄県	公務員
ない											男性	20代	東京都	会社員(事務系)
				めたのん							男性	20代	兵庫県	会社員(技術系)
なし	なしやな										男性	20代	兵庫県	会社員(事務系)
マハラジャ											女性	20代	栃木県	会社員(その他)
							忘れた				女性	20代	大阪府	パート・アルバイト
			わからない								女性	20代	広島県	会社員(事務系)
			リボソーム							ピオチン	女性	20代	三重県	会社員(その他)
			ヘリオケアウルトラD								女性	20代	福岡県	専業主婦(主夫)
			わすれた								女性	20代	静岡県	会社員(事務系)
なし		なし									女性	20代	千葉県	学生
						モアリップ					女性	20代	東京都	専業主婦(主夫)
			ユークロマクリーム								女性	20代	滋賀県	会社員(その他)
			メラケアforte								女性	20代	千葉県	会社員(技術系)
ティフェリンゲル											女性	20代	熊本県	自営業
わかりません											女性	20代	愛知県	その他
										覚えてない	女性	20代	東京都	学生
									ブレリア		女性	20代	北海道	その他
						忘れた					女性	20代	東京都	会社員(事務系)
			スキンフード								女性	20代	広島県	学生
わからない											女性	20代	神奈川県	会社員(その他)
			リブライセル								女性	20代	東京都	会社員(事務系)
			リブライセル								女性	20代	静岡県	パート・アルバイト
			EUKROMA								女性	20代	三重県	専業主婦(主夫)
			ハイドロキノン含有の クリーム、トレチノイン 含有のクリーム				オエストロジェル			ケアプロスト (まつ毛育毛剤として)	女性	20代	広島県	会社員(事務系)
覚えていない											女性	20代	山口県	会社員(事務系)
					AMPLEN						女性	20代	山形県	学生
サプリメントみたいな名前											女性	20代	東京都	会社員(その他)
			わからない							わからない	女性	20代	東京都	公務員

								ニベアQ10		女性	20代	石川県	学生
わからない										女性	20代	群馬県	会社員(技術系)
									まつげ美容液：ケアプロスト	女性	20代	神奈川県	会社員(事務系)
			ヘリオケア						まつ毛増毛目的：ルミガン	女性	20代	福島県	公務員
					わからない					女性	20代	大阪府	学生
なし										女性	20代	茨城県	パート・アルバイト
僕は今	無口な空に	吐き出した	孤独という	名の雲	その雲が	雨を振らせて	虹が出る	どうせ掴めないのに		女性	20代	東京都	専業主婦(主夫)
									ケアプロスト	女性	20代	東京都	会社員(事務系)
			不明							女性	20代	熊本県	会社員(事務系)
									まつ毛美容液	女性	20代	北海道	会社員(その他)
										女性	20代	大阪府	無職
忘れてしまった									忘れた	女性	20代	神奈川県	専業主婦(主夫)
										女性	20代	宮城県	パート・アルバイト
わからない										女性	20代	長崎県	会社員(技術系)
わからない				わからない						男性	30代	神奈川県	会社員(事務系)
					不明					男性	30代	岐阜県	会社員(事務系)
覚えていない			覚えていない	覚えていない	覚えていない	覚えていない	覚えていない	覚えていない		男性	30代	愛知県	会社員(その他)
						忘れた				男性	30代	富山県	会社員(技術系)
わずれた										男性	30代	埼玉県	会社員(その他)
									わからない	男性	30代	静岡県	会社員(技術系)
									忘れました	男性	30代	大阪府	会社員(その他)
	なし									男性	30代	岐阜県	会社員(技術系)
	不明									男性	30代	東京都	会社員(事務系)
ダイアン35										男性	30代	愛知県	会社員(技術系)
				覚えてないです						男性	30代	神奈川県	会社員(事務系)
かなや										男性	30代	石川県	会社員(技術系)
分からない										男性	30代	埼玉県	会社員(その他)
			わからない							男性	30代	東京都	会社員(その他)
わからなうって										男性	30代	東京都	会社員(事務系)
			uvシールド							男性	30代	神奈川県	会社員(技術系)
									デオドラント	女性	30代	長崎県	自由業
									ビタミン系のサプリメント多数	女性	30代	大阪府	専業主婦(主夫)
					ヒアルロン酸					女性	30代	千葉県	会社員(事務系)
ニベア										女性	30代	愛知県	会社員(事務系)
			ユークロマ	トレチノイン						女性	30代	岡山県	会社員(その他)

					ブラジリアンワックス				女性	30代	岩手県	会社員(事務系)
							マイハニー		女性	30代	大分県	専業主婦(主夫)
								覚えてない	女性	30代	広島県	パート・アルバイト
									女性	30代	宮城県	パート・アルバイト
			忘れた						女性	30代	福井県	パート・アルバイト
									女性	30代	東京都	会社員(その他)
							ビタミン剤		女性	30代	神奈川県	専業主婦(主夫)
									女性	30代	神奈川県	専業主婦(主夫)
					ハイドロキノン				女性	30代	千葉県	専業主婦(主夫)
									女性	30代	大阪府	専業主婦(主夫)
									女性	30代	滋賀県	専業主婦(主夫)
			ユークロマ						女性	30代	秋田県	会社員(事務系)
			トレチノイン						女性	30代	神奈川県	専業主婦(主夫)
			ユークロマトレチ						女性	30代	東京都	会社員(事務系)
			覚えていない						女性	30代	兵庫県	会社員(その他)
ディフェリンゲル									女性	30代	兵庫県	専業主婦(主夫)
			分からない						女性	30代	神奈川県	専業主婦(主夫)
オバシー石鹸			メラケアフォルテクリーム						女性	30代	大阪府	会社員(事務系)
忘れた									女性	30代	大阪府	会社員(事務系)
						きわみ			女性	30代	広島県	会社員(事務系)
			シミ予防						女性	30代	北海道	会社員(その他)
								覚えていない	女性	30代	茨城県	専業主婦(主夫)
			トレチノイン						女性	30代	神奈川県	専業主婦(主夫)
					わからない				女性	30代	神奈川県	自営業
			メラケア						女性	30代	北海道	会社員(事務系)
									女性	30代	大阪府	会社員(技術系)
			忘れた						女性	30代	東京都	専業主婦(主夫)
			ルミキシル						女性	30代	秋田県	会社員(その他)
不明									女性	30代	広島県	パート・アルバイト
ベンザック									女性	30代	埼玉県	専業主婦(主夫)
						バック 名前は覚えてない			女性	30代	東京都	会社員(その他)
			ハイドロキノン	トレチノイン					女性	30代	千葉県	無職
			わからない						女性	30代	神奈川県	専業主婦(主夫)
									男性	40代	兵庫県	自営業
									男性	40代	千葉県	公務員
						不明			男性	40代	東京都	会社員(事務系)



魔人ブウ	キングトーン	超高次元の魔神	変奇郎	魔太郎	西村顕治	道場六三郎	翁の御前	魔王サイコ	クライシス皇帝	性別	年齢	出身地	職業
									リボスフェリック	男性	40代	茨城県	自由業
									水虫	男性	40代	新潟県	会社員(事務系)
					LactiCareLotion					男性	40代	東京都	会社員(技術系)
覚えてない										男性	40代	大阪府	会社員(技術系)
知りたい?				知りたい?						男性	40代	沖縄県	パート・アルバイト
									個人情報なので明かせない	男性	40代	東京都	その他
ない										男性	40代	京都府	会社員(技術系)
			とらんみつく							男性	40代	埼玉県	自由業
								オエストロジェル		男性	40代	東京都	自営業
チキユン	タサタサ	マサヤタ	マハヤ	タワサ	ヤナカ	サラハ	ブラン	ワイル		男性	40代	福岡県	会社員(事務系)
			分からない							男性	40代	静岡県	会社員(事務系)
ダイアン35										男性	40代	神奈川県	会社員(技術系)
		不明								女性	40代	茨城県	会社員(事務系)
									まつ毛の育毛剤	女性	40代	大阪府	専業主婦(主夫)
			今わからない					今わからない		女性	40代	岩手県	会社員(その他)
									ロコイド	女性	40代	兵庫県	パート・アルバイト
									ビタミンC	女性	40代	福岡県	パート・アルバイト
									ピオテン	女性	40代	静岡県	パート・アルバイト
スティーバA	ヒルドイド		ユークロマ							女性	40代	奈良県	会社員(その他)
									鉄剤	女性	40代	東京都	会社員(事務系)
			プラセントレックス (PLACENTREX)							女性	40代	大分県	会社員(事務系)
			ルミキシル、ハイドロキ ノン、ユークロマ					ブラセンタジェル、		女性	40代	東京都	専業主婦(主夫)
							不明			女性	40代	東京都	自由業
			トレチクリーム							女性	40代	北海道	その他
									コルゲート	女性	40代	神奈川県	会社員(事務系)
				読めない						女性	40代	宮城県	専業主婦(主夫)
				わからない	わからない					女性	40代	神奈川県	会社員(事務系)
ダーマローラー 麻酔クリーム										女性	40代	愛知県	専業主婦(主夫)
			ユークロマ	トレチノイン						女性	40代	兵庫県	パート・アルバイト
ピフナイト	ケラチナミン		再しゅんかん製薬	ドモホルンリンクル	パーフェクトワン					女性	40代	北海道	パート・アルバイト
ティーツリー			ビタミンc	ビタミンe						女性	40代	静岡県	パート・アルバイト
				忘れた						女性	40代	京都府	パート・アルバイト
									化粧水 ドクターコスメ	女性	40代	愛知県	専業主婦(主夫)
									忘れた	女性	40代	兵庫県	専業主婦(主夫)

				わからない					女性	40代	東京都	会社員(その他)
		ハイドロキノン					パントガール		女性	40代	千葉県	会社員(事務系)
								わかりません	女性	40代	福岡県	会社員(その他)
		わからない							女性	40代	広島県	専業主婦(主夫)
		わからない							女性	40代	東京都	パート・アルバイト
		ハイチオールC							女性	40代	奈良県	会社員(事務系)
							ブラセンタジェル		女性	40代	千葉県	会社員(その他)
								トリファラ	女性	40代	青森県	パート・アルバイト
							ブラセンタ		女性	40代	島根県	その他
								ルミガン まつげ育毛	女性	40代	秋田県	会社員(事務系)
			名前を忘れた				マックスゴールド		女性	40代	富山県	専業主婦(主夫)
								まつげ美容液	女性	40代	福岡県	自由業
				手のあれ					男性	50代	神奈川県	会社員(その他)
		失念した							男性	50代	神奈川県	会社員(技術系)
ダイアン35									男性	50代	滋賀県	自営業
ジェネリック									男性	50代	埼玉県	会社員(事務系)
							メガハイドレート		男性	50代	佐賀県	公務員
								puremarin	男性	50代	大阪府	会社員(その他)
アダフェリン									男性	50代	岡山県	自営業
								プレマリン プロベラ	男性	50代	長野県	会社員(その他)
				忘れました					男性	50代	大阪府	会社員(その他)
			ビタミン						女性	50代	東京都	会社員(事務系)
			覚えてません						女性	50代	兵庫県	専業主婦(主夫)
								緊張感からの震えをなくす インデラル	女性	50代	静岡県	パート・アルバイト
				わからない					女性	50代	青森県	会社員(事務系)
		ブラセンタ							女性	50代	沖縄県	パート・アルバイト
		覚えていない							女性	50代	北海道	専業主婦(主夫)
		ハイドロキノン10%							女性	50代	佐賀県	パート・アルバイト
								忘れた	女性	50代	滋賀県	専業主婦(主夫)
				わずれた					女性	50代	新潟県	公務員
		レチノール	ハイドロキノン						女性	50代	三重県	自由業
		ふめい							女性	50代	東京都	専業主婦(主夫)
							覚えてません		女性	50代	新潟県	パート・アルバイト
		わからない							女性	50代	神奈川県	会社員(その他)
		忘れた							女性	50代	千葉県	その他

クレアラシル									女性	50代	千葉県	パート・アルバイト
								まつ毛美容液 model ayes	女性	50代	北海道	自営業
			忘れました	忘れました					女性	50代	千葉県	専業主婦(主夫)
レメディ									女性	50代	東京都	専業主婦(主夫)
			ケシミン						女性	50代	東京都	自営業
			ハイドロキノン						女性	50代	愛知県	専業主婦(主夫)
								発汗予防デオドラント	女性	50代	福岡県	その他
						忘れた			男性	60代以上	熊本県	無職
23456tyuio									男性	60代以上	長野県	自営業
ニキビ									男性	60代以上	大阪府	無職
			ホワイトニング						男性	60代以上	北海道	その他
軟膏									女性	60代以上	大阪府	専業主婦(主夫)
			ルミガン			hirudoid			女性	60代以上	大阪府	専業主婦(主夫)
								歯のホワイトニング、まつげ増毛	女性	60代以上	福岡県	専業主婦(主夫)
								幹細胞	女性	60代以上	大阪府	専業主婦(主夫)
アクネ	おるないん	わかりません	アリナミン	こらりっち	SK-II				女性	60代以上	広島県	パート・アルバイト
					レッセン				女性	60代以上	東京都	パート・アルバイト
			わからない						女性	60代以上	長崎県	専業主婦(主夫)
								ランコム	女性	60代以上	宮城県	専業主婦(主夫)
								わからない	女性	60代以上	大阪府	専業主婦(主夫)
								覚えていない	女性	60代以上	埼玉県	専業主婦(主夫)
								チャコール	女性	60代以上	大阪府	専業主婦(主夫)
								憶えていない	女性	60代以上	神奈川県	その他
								サプリメント	女性	60代以上	神奈川県	自営業

：不適切回答と考えられるもの（人名、解釈不能な文字列、回答をつなげると文になるもの等）

表 12-2. 美容関連薬の製品名【表 12-1 の集計】

	n
「ニキビ治療」目的の製品名 (n=69)	
ダイアン 35	3
クレアラシル	2
ディフェリンゲル	2
ニベア	2
ロアキュタン	2
以下 n=1 の単語	
A レットジェル	ビフナイト
Biore	ヒルロイド
Dr.Jart+	ベピオ
アクネ	ベンザック
アダフェリン	マハラジャ
アトリックス	レメディ
アポステイ	軟膏
オパシー石鹸	麻酔クリーム
サプリメントみたいな名前	魔人ブウ
ジェネリック	23456tyuio
スティーバ A	jxkxjdjd
ダーマローラ	僕は今
チキュン	知りたい?
ティーツリー	かなや
ニキビ	
わからない、忘れた、特に、なし 等	29

(続)

---

「角化・乾癬治療」目的の製品名 (n=11)

おろないん	1
ケラチナミン	1
キングトーン	1
ず jzjz	1
無口な空に	1
タサタサ	1
わからない、なし、不明 等	5

「白斑治療」目的の製品名 (n=10)

マサヤタ	1
ルミガン	1
超高次元の魔神	1
zjzjz	1
吐き出した	1
わからない、なし、不明 等	5

(続)

「日焼け・シミ予防、美白」目的の製品名 (n=74)

ユークロマ	6
ハイドロキノン	5
トレチノイン	3
リプライセル	3
ルミキシル	2
ビタミンc	2

以下 n=1 の単語

Dr.Jart+	ヘリオケア
EUKROMA	ヘリオケアウルトラ D
transamint	ホワイティング
uv シールド	マハヤ
アリナミン	メラケア
ケシミン	メラケア forte
再しゅんかん製薬	メラケアフォルテクリーム
シミ予防	ユークロマクリーム
スキンフード	リポソーム
とらんみつく	レチン A クリーム
トレチ	レチノール
トレチクリーム	日焼け止め
ハイチオールC	変奇郎
ハイドロキノン 10%	孤独という
プラセンタ	djsj
プラセントレックス(PLACENTREX)	

わからない、覚えていない、失念した 等 22

(続)

「しわ・たるみ予防」目的の製品名 (n=29)

トレチノイン	4
ハイドロキノン	2

以下 n=1 の単語

AMPLE:N	ビタミン
Egh	めたのん
タワサ	魔太郎
ドモホルンリンクル	dつつjz
パック	名の雲
ビタミン e	読めない

わからない、覚えていない、不明 等	11
-------------------	----

「保湿」目的の製品名 (n=27)

Easy dew EX モイスチャーエッセンシャルミスト	1
hirudoid	1
LactiCareLotion	1
SK-II	1
オイル	1
きわみ	1
ユーセリン 乾燥肌セラピーオリジナル保湿ローション	1
ヒアルロン酸	1
パック 名前は覚えてない	1
パーフェクトワン	1
モアリップ	1
ヤナカ	1
レッセン	1
その雲が	1
手のあれ	1
西村顕治	1

わからない、覚えていない、不明 等	11
-------------------	----

(続)

---

「脱毛」目的の製品名 (n=11)

アイボーテ	1
サラハ	1
ブラジリアンワックス	1
リアップ	1
雨を振らせて	1
道場六三郎	1
忘れた、覚えていない、不明 等	5

「豊胸」目的の製品名 (n=12)

オエストロジェル	1
プエラリア	1
プラン	1
プレストサクセスカプセル	1
翁の御前	1
虹が出る	1
忘れた、覚えていない、不明 等	6



(続)

---

「老化防止・若返り」目的の製品名 (n=22)

プラセンタジェル	1
オエストロジェル	1
ニベア Q10	1
パントガール	1
ビタミン剤	1
プラセンタ	1
マイハニー	1
マックスゴールド	1
メガハイドレート	1
ワイル	1
どうせ掴めないのに	1
魔王サイコ	1
わからない、なし、覚えていない 等	10

(続)

---

「その他」目的の製品名 (n=54)

ケアプロスト	3
ビオチン	3
ルミガン	3
まつ毛美容液	2

以下 n=1 の単語

puremarin	ランコム
オメガ3	リポスフェリック
カリウム	ロコイド
クライシス皇帝	幹細胞
ケロイド用クリーム	緊張感からの震えをなくす インデラル
コルゲート	化粧水 ドクターコスメ
サプリメント	鉄剤
チャコール	発汗予防デオドラント
デオドラント	歯のホワイトニング
トリファラ	歯のホワイトニング系
ビタミンC	まつ毛増毛
ビタミン系のサプリメント多数	まつ毛美容液 model ayes
ビタミン剤	まつ毛の育毛剤
プレマリン	水虫
プロベラ	個人情報なので明かせない
ホワイトニング	

わからない、なし、覚えていない 等

12

---

n=319

表 13-1. 「スマートドラッグ」個人輸入経験者の属性と用途

	男性		女性		合計	
	n	%	n	%	n	%
年齢						
1. 15～19 才	1	1.6	1	1.6	2	3.2
2. 20～29 才	25	40.3	4	6.5	29	46.8
3. 30～39 才	15	24.2	2	3.2	17	27.4
4. 40～49 才	6	9.7	1	1.6	7	11.3
5. 50～59 才	1	1.6	3	4.8	4	6.5
6. 60 才以上	2	3.2	1	1.6	3	4.8
合計	50	80.6	12	19.4	62	100
「スマートドラッグ」の用途 (n=62、複数回答)						
1. 集中力を高める	32	51.6	10	16.1	42	67.7
2. 記憶力を高める	18	29.3	3	4.8	21	33.9
3. 頭の回転をよくする	13	21.0	3	4.8	16	25.8
4. その他	7	11.3	3	4.8	10	16.1

n=62

表 13-2. 「スマートドラッグ」個人輸入経験者および非経験者（詳細）

	スマートドラッグの購入経験						p 値*
	有 (n=62)			無 (n=981)			
	n	%	a	n	%	a	
性別							
1. 男性	50	80.6	3.4	579	59.0	-3.4	<0.001
2. 女性	12	19.4	-3.4	402	41.0	3.4	
年齢							
1. 15～19 才	2	3.2	-0.5	45	4.6	0.5	<0.001
2. 20～29 才	29	46.8	6.1	157	16.0	-6.1	
3. 30～39 才	17	27.4	0.7	230	23.4	-0.7	
4. 40～49 才	7	11.3	-2.1	221	22.5	2.1	
5. 50～59 才	4	6.5	-2.8	205	20.9	2.8	
6. 60 才以上	3	4.8	-1.8	123	12.5	1.8	

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p<0.05$

a 調整済み残差 ( $p<0.05$  水準で  $\pm 1.96$  以上)

表 14-1. スマートドラッグの製品名

1 集中力を高める	2 記憶力を高める	3 頭の回転をよくする	4 その他	性別	年代	都道府県	職業
わずれた				男性	10代	埼玉県	学生
DMAE		DMAE		女性	10代	北海道	学生
			特になし	男性	20代	兵庫県	会社員(技術系)
セロトニン				男性	20代	岡山県	パート・アルバイト
		分からない		男性	20代	兵庫県	その他
マクティクス				男性	20代	兵庫県	学生
わからない				男性	20代	静岡県	会社員(技術系)
		よく覚えていない		男性	20代	大阪府	学生
バイアグラ				男性	20代	東京都	学生
		odb		男性	20代	神奈川県	会社員(事務系)
バファリン				男性	20代	愛媛県	会社員(技術系)
なかなかね				男性	20代	大阪府	学生
カナビス	カナビス			男性	20代	千葉県	学生
	わからない			男性	20代	大阪府	パート・アルバイト
jdjsjs	zつjsk			男性	20代	東京都	会社員(事務系)
	たかめるん			男性	20代	東京都	パート・アルバイト
正露丸				男性	20代	神奈川県	公務員
覚えていない				男性	20代	福岡県	会社員(事務系)
ウコン				男性	20代	青森県	無職
忘れてしまった		忘れてしまった		男性	20代	神奈川県	無職
浮かばない				男性	20代	埼玉県	会社員(事務系)

	製品名は思い出せない			男性	20代	三重県	会社員(事務系)
特にありません				男性	20代	千葉県	自由業
モダフィニル				男性	20代	沖縄県	公務員
忘れたわ				男性	20代	宮城県	会社員(技術系)
	なし			男性	20代	広島県	会社員(その他)
なし				男性	20代	兵庫県	会社員(事務系)
DHA				女性	20代	東京都	会社員(事務系)
ピラセタム				女性	20代	滋賀県	会社員(その他)
わからない	わからない	わからない	わからない	女性	20代	東京都	パート・アルバイト
出会った頃から	ずっと変わらない	鼻にかかる声		女性	20代	東京都	専業主婦(主夫)
覚えていない	覚えていない	覚えていない		男性	30代	愛知県	会社員(その他)
	わすれた			男性	30代	埼玉県	会社員(その他)
ピラセタム				男性	30代	京都府	会社員(事務系)
のチロシン・ホスファチジルセリン				男性	30代	宮城県	自営業
	ホスファチジルセリン			男性	30代	神奈川県	会社員(技術系)
無し				男性	30代	愛知県	会社員(技術系)
	aaf			男性	30代	愛知県	自営業
DMAE	Lチロシン	ホスファチジルセリン		男性	30代	神奈川県	会社員(その他)
			忘れた	男性	30代	東京都	経営者・役員
		チロシン		男性	30代	愛知県	会社員(技術系)
	ピラセタム			男性	30代	群馬県	会社員(技術系)
わからないって				男性	30代	東京都	会社員(事務系)
分からない	不明	不明	分からない	男性	30代	静岡県	会社員(技術系)
わからない				男性	30代	大阪府	公務員

		思い出せません		男性	30代	広島県	公務員
忘れた				女性	30代	愛知県	会社員(事務系)
記憶力				女性	30代	埼玉県	専業主婦(主夫)
水津康夫	坂井宏行	道薫岳	石鍋裕	男性	40代	茨城県	自由業
忘れました	忘れました	バソプレシン		男性	40代	大阪府	会社員(技術系)
わからない				男性	40代	愛知県	会社員(事務系)
			わからない	男性	40代	東京都	公務員
チマ	サナ	タカヤ		男性	40代	福岡県	会社員(事務系)
なし	なし	なし	なし	男性	40代	大阪府	会社員(その他)
			覚えていない	女性	40代	東京都	会社員(事務系)
	エチラセタム			男性	50代	神奈川県	会社員(その他)
快適				女性	50代	兵庫県	パート・アルバイト
ピラセタム	アニラセタム			女性	50代	佐賀県	パート・アルバイト
ルテイン				女性	50代	千葉県	パート・アルバイト
バイアグラ				男性	60代以上	神奈川県	会社員(技術系)
			不明	男性	60代以上	大阪府	無職
			覚えていない	女性	60代以上	埼玉県	専業主婦(主夫)

：不適切回答と考えられるもの（人名、解釈不能な文字列、回答をつなげると文になるもの等）

表 14-2. スマートドラッグの製品名【表 14-1 の集計】

	n
<b>「集中力を高める」目的の製品名 (n=39)</b>	
ピラセタム	3
DMAE	2
バイアグラ	2
<u>以下 n=1 の単語</u>	
DHA	ルテイン
ウコン	快適
カナビス	記憶力
セロトニン	正露丸
チマ	水津康夫
のチロシン・ホスファチジルセリン	jdjsjs
バファリン	なかなかね
マクティクス	出会った頃から
モダフィニル	
わすれた、覚えていない、浮かばない 等	15
<b>「記憶力を高める」目的の製品名 (n=20)</b>	
aaf	1
L チロシン	1
アニラセタム	1
エチラセタム	1
カナビス	1
サナ	1
たかめるん	1
ピラセタム	1
ホスファチジルセリン	1
坂井宏行	1
z つ jsksk	1
わすれた、わからない、不明 等	9



(続)

---

「頭の回転をよくする」目的の製品名 (n=16)

DMAE	1
タカヤ	1
チロシン	1
バソプレシン	1
ホスファチジルセリン	1
道蔦岳	1
cdb	1
鼻にかかる声	1
わからない、覚えていない、不明 等	8

「その他」目的の製品名 (n=11)

石鍋裕	1
わからない、覚えていない、特になし 等	10

---

n=86

表 15. 医薬品製品情報の入手先

	n	%
個人輸入する際、どのようにして医薬品製品情報*を得たか（複数回答）		
1. 友人からの口コミで	295	28.3
2. 雑誌などの紹介記事を見て	130	12.5
3. 輸入代行業者が提供する製品情報を見て	328	31.4
4. インターネット上で製薬メーカーや外国政府などが公表している製品情報を検索して	252	24.2
5. インターネット上で上記以外の広告や掲示板、ブログなどを見て	310	29.7
6. 海外の製薬メーカーまたは薬局（卸売り業者を含む）へ資料請求を行って取り寄せた	38	3.6
7. Twitter や Facebook、Instagram などの SNS を見て	79	7.6
8. 医師・歯科医師から情報を得て	40	3.8
9. その他	45	4.3

n=1,043

\* 「製品名、剤形（錠剤、カプセルなど）、用法・用量、包装中の入り数など」との説明を質問文に明記した

表 16. 個人輸入医薬品の発送国と説明文書

	n	%
個人輸入医薬品はどこから送られてきたか（選択肢 1-5：複数回答）		
1. 中国（香港を除く）	143	13.7
2. 香港	194	18.6
3. 中国・香港以外のアジア	162	15.5
4. アメリカ	303	29.1
5. その他	69	6.6
6. わからない	290	27.8
個人輸入医薬品の使用方法・注意事項などが記載された文書が入っていたか		
1. （すべて）入っていた	686	65.8
2. 入っていなかった（入っていなかったこともあった）	357	34.2
文書は何語で記載されていたか（n=686、選択肢 1-7：複数回答）		
1. 日本語	304	44.3
2. 中国語	94	13.7
3. タイ語	40	5.8
4. 英語	332	48.4
5. フランス語	18	2.6
6. スペイン語	12	1.7
7. その他の言語	20	2.9
8. わからない	72	10.5
医薬品の使用方法や注意事項など記載内容を理解できたか		
1. よく理解できた（ことが多かった）	209	20.0
2. ある程度理解できた（ことが多かった）	430	41.2
3. あまり理解できなかった（ことが多かった）	176	16.9
4. 全く理解できなかった（ことが多かった）	57	5.5
5. 読んでいない	171	16.4

n=1,043

表 17. 医薬品個人輸入の動機と輸入に際しての相談

	n	%
医薬品を個人輸入した動機・理由（複数回答）		
1. 値段が安かったから	534	51.2
2. インターネットを利用して手軽に注文できるから	537	51.5
3. 病院・診療所・薬局に行くのが面倒だから	203	19.5
4. 他人に知られずに入手したかったから	166	15.9
5. 日本の薬局や薬店では買えないから	298	28.6
6. 国内で販売されている医薬品では得られない効果を期待して	173	16.6
7. 病院・診療所では期待する治療が受けられないと感じたから	50	4.8
8. 海外で受けた治療を継続する必要があったから	20	1.9
9. その他	40	3.8
個人輸入に際して医師・歯科医師・薬剤師への相談（選択肢 1-5：複数回答）		
1. 個人輸入すべきかどうか相談した	104	10.0
2. 個人輸入の方法を相談した	103	9.9
3. 購入したい製品が決まっていなかったため、おすすめの製品について相談した	88	8.4
4. 購入したい製品が決まっていたため、その製品の品質や有効性、安全性について相談した	78	7.5
5. その他	8	0.8
6. 相談しなかった	751	72.0

n=1,043

表 18. 個人輸入した医薬品の効果と副作用

	n	%
個人輸入医薬品を使用して期待した効果が得られたか (n=1,043)		
1. 期待した以上に得られた (ことが多かった)	193	18.5
2. おおむね期待した程度に得られた (ことが多かった)	555	53.2
3. 期待した程度には得られなかった (ことが多かった)	184	17.6
4. 全く得られなかった (ことが多かった)	111	10.6
個人輸入医薬品により副作用と思われる症状を経験した (n=1,043)		
1. はい	226	21.7
2. いいえ	817	78.3
経験した副作用と思われる症状 (n=226、複数回答)		
1. 皮膚への影響*1	66	29.2
2. かぜのような症状*2	49	21.7
3. 腹痛	32	14.2
4. 吐き気、嘔吐	39	17.3
5. 便秘	19	8.4
6. 下痢	31	13.7
7. 頭痛	33	14.6
8. 手足のしびれ	11	4.9
9. ほてり	40	17.7
10. 出血	6	2.7
11. 不眠	11	4.9
12. 眠気	17	7.5
13. めまい、ふらつき	15	6.6
14. 動悸	23	10.2
15. 息切れ、息苦しさ	11	4.9
16. その他	33	14.6

\*1 「赤くなった、腫れた、ぶつぶつができた、など」との説明を選択肢に明記した

\*2 「発熱、のどの痛み、体がだるい、など」との説明を選択肢に明記した

表 19-1. 個人輸入医薬品による副作用様症状経験者【属性と個人輸入経験】

	副作用様症状の発現経験			
	有 (n=226)		無 (n=817)	
	n	%	n	%
性別				
1. 男性	166	73.5	463	56.7
2. 女性	60	26.5	354	43.3
年齢				
1. 15～19 才	8	3.5	39	4.8
2. 20～29 才	68	30.1	118	14.4
3. 30～39 才	56	24.8	191	23.4
4. 40～49 才	44	19.5	183	22.4
5. 50～59 才	35	15.5	174	21.3
6. 60 才以上	15	6.6	112	13.7
どのくらいの頻度で個人輸入をしたか (n=1,043、複数回答)				
1. 1 回のみ	123	54.4	514	62.9
2. おおむね 1 か月以内ごとに繰り返し	111	49.1	82	10.0
3. おおむね 2～3 か月以内ごとに繰り返し	112	49.6	168	20.6
4. おおむね半年以内ごとに繰り返し	86	38.1	160	19.6
5. おおむね半年より長い間隔で繰り返し	73	32.3	195	23.9
6. その他	2	0.9	28	3.4
個人輸入した期間はどれくらいですか (n=1,043、複数回答)				
1. 1 回のみ	100	44.2	510	62.4
2. 継続的に (～半年)	95	42.0	132	16.2
3. 継続的に (～1 年)	127	56.2	146	17.9
4. 継続的に (～3 年)	113	50.0	172	21.1
5. 継続的に (～5 年)	36	15.9	58	7.1
6. 継続的に (5 年を超えて)	35	15.5	100	12.2
7. その他	1	0.4	29	3.5

表 19-2. 個人輸入医薬品による副作用様症状経験者【個人輸入した医薬品】

個人輸入した医薬品の用途 (n=1,043、複数回答*)	副作用様症状の経験			
	有 (n=226)		無 (n=817)	
	n	%	n	%
1. ダイエット (n=246)	88	38.9 (35.8)	158	19.3 (64.2)
2. 美容 (n=232)	60	26.5 (25.9)	172	21.1 (74.1)
3. スマートドラッグ (n=62)	34	15.0 (54.8)	28	3.4 (45.2)
4. 育毛・養毛 (n=204)	65	28.8 (31.9)	139	17.0 (68.1)
5. 性機能の増強 (n=194)	73	32.3 (37.6)	121	14.8 (62.4)
6. 避妊 (n=81)	27	11.9 (33.3)	54	6.6 (66.7)
7. 性病 (n=35)	21	9.3 (60.0)	14	1.7 (40.0)
8. 性病以外の感染症 (n=41)	15	6.6 (36.6)	26	3.2 (63.4)
9. がん (n=17)	12	5.3 (70.6)	5	0.6 (29.4)
10. うつ・不安など精神系 (n=47)	20	8.8 (42.6)	27	3.3 (57.4)
11. アレルギー (n=83)	20	8.8 (24.1)	63	7.7 (75.9)
12. 睡眠 (n=77)	22	9.7 (28.6)	55	6.7 (71.4)
13. 滋養・強壮 (n=100)	26	11.5 (26.0)	74	9.1 (74.0)
14. 歯のホワイトニング (n=75)	15	6.6 (20.0)	60	7.3 (80.0)
15. その他 (n=160)	9	4.0 (5.6)	151	18.5 (94.4)

\* ( ) 内に示す割合：各医薬品の用途別購入者数に占める、副作用様症状経験の割合

表 19-3. 個人輸入医薬品による副作用様症状経験者【個人輸入経験】

	副作用様症状の発現経験						p 値*
	有 (n=226)			無 (n=817)			
	n	%	a	n	%	a	
個人輸入医薬品はどこから送られてきたか (選択肢 1-5: 複数回答)							
1. 中国 (香港を除く)	64	28.3	7.2	79	9.7	-7.2	<0.001
2. 香港	66	29.2	4.6	128	15.7	-4.6	<0.001
3. 中国・香港以外のアジア	37	16.4	0.4	125	15.3	-0.4	0.694
4. アメリカ	58	25.7	-1.3	245	30.0	1.3	0.205
5. その他	15	6.6	0	54	6.6	0	0.988
6. わからない	36	15.9	-4.5	254	31.1	4.5	<0.001
医薬品の使用方法や注意事項など記載内容を理解できたか							
1. 理解できた (ことが多かった)	153	67.7	2.2	486	59.5	-2.2	
┌ よく理解できた							
└ ある程度理解できた							
2. 理解できなかった (ことが多かった)	73	32.3	-2.2	331	40.5	2.2	0.025
┌ あまり理解できなかった							
└ 全く理解できなかった							
└ 読んでいない							
個人輸入医薬品を使用して期待した効果が得られたか							
1. 得られた (ことが多かった)	188	83.2	4.3	560	68.5	-4.3	
┌ 期待した以上に得られた							
└ おおむね期待した程度に得られた							
2. 得られなかった (ことが多かった)	38	16.8	-4.3	257	31.5	4.3	<0.001
┌ 期待した程度には得られなかった							
└ 全く得られなかった							

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p < 0.05$

a 調整済み残差 ( $p < 0.05$  水準で  $\pm 1.96$  以上)



表 20. 個人輸入医薬品による有害事象への対処

	n	%
副作用と思われる症状発現時の対処 (n=226)		
1. 自分の判断で手持ちの医薬品を使用した	52	23.0
2. 薬局や薬店で薬剤師・登録販売者に相談して医薬品を 購入し使用した	46	20.4
3. 薬局や薬店で薬剤師・登録販売者に相談せずに医薬品を 購入し使用した	16	7.1
4. 医療機関を受診した (医師に相談した)	11	4.9
5. 特に手当せずに、自然に治るまで我慢した	94	41.6
6. その他	7	3.1
医薬品使用後の経過 (n=114)		
1. 症状が改善したため、その後は何もしなかった (様子 を見た)	65	57.0
2. 症状が改善せず、再び薬局や薬店へ医薬品を買いに行った	41	36.0
3. 治らない、または悪化したため医療機関を受診した	8	7.0
4. その他	0	0
医療機関受診後の経過 (n=19)		
1. 1回の受診で済んだ (検査も処置も行われなかった)	4	21.1
2. 1回の受診で済んだ (検査あるいは処置のいずれか、または検 査・処置の両方が行われた)	3	15.8
3. 1回の受診では済まず、通院が必要となった (医師から 医薬品の処方は無かった)	2	10.5
4. 1回の受診では済まず、通院が必要となった (医師から 医薬品の処方があった)	8	42.1
5. 入院が必要となった (手術の必要は無かった) *	1	5.3
6. 入院が必要となった (手術が必要となった) *	1	5.3
7. その他	0	0

\* 他の質問項目で整合性のない回答もあるため、当該回答はなりすましと疑われる

表 21. 医薬品を個人輸入した際のトラブルと対処

	n	%
個人輸入した際に何か困ったことはあったか (n=1,043、選択肢 1-8 : 複数回答)		
1. 料金を支払ったが、注文したものが届かなかった	50	4.8
2. 注文した個数より多く、または少なく届いた	74	7.1
3. 注文したものと、全く別のものが届いた	42	4.0
4. ネットなどで、あらかじめ見たものと、名前や箱のデザインが異なるものが届いた	66	6.3
5. 破損していた* <sup>1</sup>	45	4.3
6. 箱や瓶に入っていなかった* <sup>2</sup>	23	2.2
7. 偽造品と思われるものが届いた	13	1.2
8. その他	16	1.5
9. 困ったことはなかった	810	77.7
困ったことがあった時、どのような行動をとったか (n=233、選択肢 1-5 : 複数回答)		
1. 輸入代行業者に問い合わせた	76	32.6
2. 海外の医薬品販売業者に直接問い合わせた	61	26.2
3. 消費者生活センターなどの消費者相談窓口にご相談した	60	25.8
4. 身近な人に相談した	34	14.6
5. その他	1	0.4
6. 何もしなかった	55	23.6

\*<sup>1</sup> 「錠剤が割れていた、包装シートに穴があいていた、など」との説明を選択肢に明記した

\*<sup>2</sup> 「封がされてなく内容物だけ小袋入り、など」との説明を選択肢に明記した

表 22. 医薬品個人輸入経験者の健康状態と健康保持・増進活動

	n	%
現在の健康状態（調査時）		
1. 健康であり、病院・診療所で治療を受けていない	567	54.4
2. 病院・診療所で治療を受けていないが、健康上の不安がある	196	18.8
3. 病院・診療所で治療を受けている	268	25.7
4. その他	12	1.2
健康保持・増進のために日頃から行っていること（選択肢 1-6：複数回答）		
1. 食事に気をつけている	541	51.9
2. サプリメントや健康食品、医薬品（滋養強壮目的の医薬品など）を使用している	415	39.8
3. 運動するように心がけている	403	38.6
4. 十分な睡眠をとるようにしている	435	41.7
5. 精神的なストレスをためないようにしている	332	31.8
6. その他	7	0.7
7. 特に何も行っていない	136	13.0

n=1,043

表 23. 医薬品個人輸入経験者の個人輸入に関する知識・認識

	n	%
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている（複数回答）		
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	585	56.1
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	508	48.7
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	411	39.4
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とされない	320	30.7
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	331	31.7
6. この中に知っているものはない	167	16.0
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している		
1. よく知っている	274	26.3
2. 少し知っている	403	38.6
3. あまり知らない	272	26.1
4. 全く知らない	94	9.0
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う		
1. とても思う	276	26.5
2. 少し思う	554	53.1
3. あまり思わない	156	15.0
4. 全く思わない	57	5.5
「あやしいヤクブツ連絡ネット」を知っている		
1. よく知っている	56	5.4
2. 少し知っている	147	14.1
3. あまり知らない	171	16.4
4. 全く知らない	669	64.1

n=1,043

表 24. 医薬品個人輸入経験者の今後の動向

	n	%
この先、医薬品を個人輸入することを予定するか (n=1,043)		
1. はい	381	36.5
2. いいえ	279	26.7
3. わからない	383	36.7
個人輸入を予定する理由 (n=381、複数回答)		
1. 過去に使用した海外の医薬品で効果が得られたから	198	52.0
2. 値段が安いから	243	63.8
3. インターネットを利用して手軽に注文できるから	235	61.7
4. 病院・診療所・薬局に行くのが面倒だから	85	22.3
5. 他人に知られずに入手したいから	71	18.6
6. 日本の薬局や薬店では買えないから	113	29.7
7. 国内で販売されている医薬品では得られない効果を期待して	66	17.3
8. 病院・診療所では期待する治療が受けられないから	23	6.0
9. 海外で受けた治療を継続する必要があるから	4	1.0
10. その他	5	1.3
今後、何に関する医薬品を個人輸入する予定ですか (n=381、複数回答)		
1. ダイエット	84	22.0
2. 美容	91	23.9
3. スマートドラッグ	34	8.9
4. 育毛・養毛	113	29.7
5. 性機能の増強	100	26.2
6. 避妊	36	9.4
7. 性病	23	6.0
8. 性病以外の感染症	14	3.7
9. がん	16	4.2
10. うつ・不安など精神系	21	5.5
11. アレルギー	49	12.9
12. 睡眠	39	10.2
13. 滋養・強壮	45	11.8
14. 歯のホワイトニング	28	7.3
15. その他	41	10.8

表 25-1. 表 24 に係る回答者の属性

	この先、医薬品を個人輸入することを予定する									p 値*
	はい (n=381)			いいえ (n=279)			わからない (n=383)			
	n	%	a	n	%	a	n	%	a	
性別										
1. 男性	262	68.8	4.2	152	54.5	-2.3	215	56.1	-2.1	<0.001
2. 女性	119	31.2	-4.2	127	45.5	2.3	168	43.9	2.1	
年齢										
1. 15～19 才	13	3.4	-1.3	14	5.0	0.5	20	5.2	0.8	0.447
2. 20～29 才	74	19.4	1.0	54	19.4	0.8	58	15.1	-1.7	
3. 30～39 才	88	23.1	-0.3	62	22.2	-0.7	97	25.3	1.0	
4. 40～49 才	84	22.0	0.1	53	19.0	-1.4	91	23.8	1.1	
5. 50～59 才	83	21.8	1.1	56	20.1	0.0	70	18.3	-1.1	
6. 60 才以上	39	10.2	-1.4	40	14.3	1.4	47	12.3	0.1	

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p<0.05$

a 調整済み残差 ( $p<0.05$  水準で $\pm 1.96$  以上)

表 25-2. 表 24 に係る副作用様症状経験や個人輸入した際のトラブルの有無

	この先、医薬品を個人輸入することを予定する									p 値*3
	はい (n=381)			いいえ (n=279)			わからない (n=383)			
	n	%	a	n	%	a	n	%	a	
副作用様症状の経験										
1. 有	121	31.8	6.0	58	20.8	-0.4	47	12.3	-5.6	<0.001
2. 無	260	68.2	-6.0	221	79.2	0.4	336	87.7	5.6	
個人輸入した際に何か困ったことはあったか (選択肢 1-8: 複数回答)										
1. 料金を支払ったが、注文したものが届かなかった (n=50)	27	7.1	2.6	13	4.7	-0.1	10	2.6	-2.5	0.015
2. 注文した個数より多く、または少なく届いた (n=74)	44	11.5	4.3	23	8.2	0.9	7	1.8	-5.0	<0.001
3. 注文したものと、全く別のものが届いた (n=42)	18	4.7	0.9	12	4.3	0.3	12	3.1	-1.1	0.515
4. ネットなどであらかじめ見たものと、名前や箱のデザインが異なるものが届いた (n=66)	37	9.7	3.4	15	5.4	-0.8	14	3.7	-2.7	0.002
5. 破損していた*1 (n=45)	25	6.6	2.7	12	4.3	0.0	8	2.1	-2.7	0.010
6. 箱や瓶に入っていなかった*2 (n=23)	13	3.4	2.0	6	2.2	-0.1	4	1.0	-1.9	0.083
7. 偽造品と思われるものが届いた (n=13)	7	1.8	1.3	3	1.1	-0.3	3	0.8	-1.0	0.380*4
8. その他 (n=16)	4	1.0	-1.0	5	1.8	0.4	7	1.8	0.6	0.627
9. 困ったことはなかった (n=810)	277	72.7	-2.9	208	74.6	-1.5	325	84.9	4.3	<0.001

\*1 「錠剤が割れていた、包装シートに穴があいていた、など」との例を選択肢に明示した

\*2 「封がされてなく内容物だけ小袋入り、など」との例を選択肢に明示した

\*3 Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p < 0.05$

\*4 Fisher の正確確率検定、 $p < 0.05$

a 調整済み残差 ( $p < 0.05$  水準で  $\pm 1.96$  以上)

表 26. 表 24 に係る医薬品の個人輸入を予定しない理由

	n	%
医薬品の個人輸入を予定しない理由 (n=279、複数回答)		
1. 海外の医薬品を使用する必要が無くなったから	134	48.0
2. 過去に使用した海外の医薬品で効果が無かったから	53	19.0
3. 過去に使用した海外の医薬品で副作用を経験したから	19	6.8
4. 過去に使用した海外の医薬品の品質に問題があったから	6	2.2
5. 過去に使用した海外の医薬品が偽造品だった (偽造品と思われた) から	7	2.5
6. 過去、医薬品の個人輸入においてトラブル*があったから	11	3.9
7. 海外の医薬品を使用すると、副作用が起きても「医薬品副作用被害救済制度」の対象にならないから	24	8.6
8. 海外の医薬品は健康保険制度の対象でないから	29	10.4
9. その他	32	11.5

\* 「注文したものが届かない、違うものが届いた、注文した個数と合わない、など」との説明を選択肢に明記した



表 27. 医薬品個人輸入経験者の今後の動向と、個人輸入に関する知識・認識

	この先、医薬品を個人輸入することを予定する									p 値*
	はい (n=381)			いいえ (n=279)			わからない (n=383)			
	n	%	a	n	%	a	n	%	a	
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)										
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	236	61.9	2.9	148	53.0	-1.2	201	52.5	-1.8	0.015
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	236	61.9	6.5	122	43.7	-1.9	150	39.2	-4.7	<0.001
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	186	48.8	4.7	100	35.8	-1.4	125	32.6	-3.4	<0.001
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	149	39.1	4.5	76	27.2	-1.5	95	24.8	-3.1	<0.001
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	135	35.4	1.9	74	26.5	-2.2	122	31.9	0.1	0.052
6. この中に知っているものはない	38	10.0	-4.0	44	15.8	-0.1	85	22.2	4.1	<0.001
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している										
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	304	79.8	7.6	160	57.3	-3.1	213	55.6	-4.8	<0.001
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	77	20.2	-7.6	119	42.7	3.1	170	44.4	4.8	
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う										
1. 思う (とても思う、少し思う)	323	84.8	3.2	219	78.5	-0.5	288	75.2	-2.7	0.004
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	58	15.2	-3.2	60	21.5	0.5	95	24.8	2.7	

\* Pearson の  $\chi^2$  検定、 $p<0.05$

a 調整済み残差 ( $p<0.05$  水準で $\pm 1.96$  以上)

表 28-1. (男性) この先、医薬品個人輸入を【予定する者 (はい)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識 《 n 》

	全年代 (男性) (n=262)	年代					
		10代 (n=5)	20代 (n=49)	30代 (n=61)	40代 (n=62)	50代 (n=61)	60代以上 (n=24)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	154	1	26	41	38	36	12
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	163	4	25	43	36	40	15
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	125	1	22	35	28	27	12
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	90	1	14	28	21	18	8
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	86	0	8	22	24	21	11
6. この中に知っているものはない	28	1	5	2	9	9	2
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	214	4	46	57	44	46	17
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	48	1	3	4	18	15	7
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	223	4	43	57	49	52	18
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	39	1	6	4	13	9	6

表 28-2. (男性) この先、医薬品個人輸入を【予定する者 (はい)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 % 》

	全年代 (男性) (n=262)	年代					
		10代 (n=5)	20代 (n=49)	30代 (n=61)	40代 (n=62)	50代 (n=61)	60代以上 (n=24)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	58.8	20.0	53.1	67.2	61.3	59.0	50.0
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	62.2	80.0	51.0	70.5	58.1	65.6	62.5
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	47.7	20.0	44.9	57.4	45.2	44.3	50.0
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	34.4	20.0	28.6	45.9	33.9	29.5	33.3
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	32.8	0	16.3	36.1	38.7	34.4	45.8
6. この中に知っているものはない	10.7	20.0	10.2	3.3	14.5	14.8	8.3
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	81.7	80.0	93.9	93.4	71.0	75.4	70.8
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	18.3	20.0	6.1	6.6	29.0	24.6	29.2
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	85.1	80.0	87.8	93.4	79.0	85.2	75.0
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	14.9	20.0	12.2	6.6	21.0	14.8	25.0

表 28-3. (女性) この先、医薬品個人輸入を【予定する者 (はい)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識 《 n 》

	全年代 (女性) (n=119)	年代					
		10代 (n=8)	20代 (n=25)	30代 (n=27)	40代 (n=22)	50代 (n=22)	60代以上 (n=15)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	82	6	20	20	17	11	8
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	73	4	18	16	15	14	6
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	61	3	15	13	10	12	8
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	59	3	15	11	12	11	7
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	49	2	13	11	9	9	5
6. この中に知っているものはない	10	2	1	1	1	3	2
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	90	6	20	21	20	14	9
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	29	2	5	6	2	8	6
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	100	7	21	23	18	18	13
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	19	1	4	4	4	4	2

表 28-4. (女性) この先、医薬品個人輸入を【予定する者 (はい)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 % 》

	全年代 (女性) (n=119)	年代					
		10代 (n=8)	20代 (n=25)	30代 (n=27)	40代 (n=22)	50代 (n=22)	60代以上 (n=15)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	68.9	75.0	80.0	74.1	77.3	50.0	53.3
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	61.3	50.0	72.0	59.3	68.2	63.6	40.0
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	51.3	37.5	60.0	48.1	45.5	54.5	53.3
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	49.6	37.5	60.0	40.7	54.5	50.0	46.7
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	41.2	25.0	52.0	40.7	40.9	40.9	33.3
6. この中に知っているものはない	8.4	25.0	4.0	3.7	4.5	13.6	13.3
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	75.6	75.0	80.0	77.8	90.9	63.6	60.0
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	24.4	25.0	20.0	22.2	9.1	36.4	40.0
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	84.0	87.5	84.0	85.2	81.8	81.8	86.7
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	16.0	12.5	16.0	14.8	18.2	18.2	13.3

表 28-5. (男性) この先、医薬品個人輸入を【予定しない者 (いいえ)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 n 》

	全年代 (男性) (n=152)	年代					
		10代 (n=3)	20代 (n=28)	30代 (n=33)	40代 (n=32)	50代 (n=29)	60代以上 (n=27)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	74	1	8	17	14	15	19
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	65	0	11	9	16	13	16
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	61	1	12	11	14	12	11
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	45	0	4	9	10	9	13
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	34	1	6	5	6	7	9
6. この中に知っているものはない	21	0	4	4	5	6	2
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	94	2	15	22	17	17	21
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	58	1	13	11	15	12	6
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	114	1	19	24	22	21	27
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	38	2	9	9	10	8	0

表 28-6. (男性) この先、医薬品個人輸入を【予定しない者 (いいえ)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 % 》

	全年代 (男性) (n=152)	年代					
		10代 (n=3)	20代 (n=28)	30代 (n=33)	40代 (n=32)	50代 (n=29)	60代以上 (n=27)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	48.7	33.3	28.6	51.5	43.8	51.7	70.4
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	42.8	0	39.3	27.3	50.0	44.8	59.3
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	40.1	33.3	42.9	33.3	43.8	41.4	40.7
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	29.6	0	14.3	27.3	31.3	31.0	48.1
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	22.4	33.3	21.4	15.2	18.8	24.1	33.3
6. この中に知っているものはない	13.8	0	14.3	12.1	15.6	20.7	7.4
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	61.8	66.7	53.6	66.7	53.1	58.6	77.8
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	38.2	33.3	46.4	33.3	46.9	41.4	22.2
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
3. 思う (とても思う、少し思う)	75.0	33.3	67.9	72.7	68.8	72.4	100
4. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	25.0	66.7	32.1	27.3	31.3	27.6	0

表 28-7. (女性) この先、医薬品個人輸入を【予定しない者 (いいえ)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 n 》

	全年代 (女性) (n=127)	年代					
		10代 (n=11)	20代 (n=26)	30代 (n=29)	40代 (n=21)	50代 (n=27)	60代以上 (n=13)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	74	6	13	17	12	18	8
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	57	6	13	14	7	11	6
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	39	4	8	9	4	11	3
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	31	4	2	7	3	10	5
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	40	6	6	8	8	10	2
6. この中に知っているものはない	23	2	4	3	6	6	2
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	66	5	14	16	8	17	6
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	61	6	12	13	13	10	7
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	105	10	22	25	15	23	10
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	22	1	4	4	6	4	3



表 28-8. (女性) この先、医薬品個人輸入を【予定しない者 (いいえ)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 % 》

	全年代 (女性) (n=127)	年代					
		10代 (n=11)	20代 (n=26)	30代 (n=29)	40代 (n=21)	50代 (n=27)	60代以上 (n=13)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	58.3	54.5	50.0	58.6	57.1	66.7	61.5
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	44.9	54.5	50.0	48.3	33.3	40.7	46.2
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	30.7	36.4	30.8	31.0	19.0	40.7	23.1
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	24.4	36.4	7.7	24.1	14.3	37.0	38.5
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	31.5	54.5	23.1	27.6	38.1	37.0	15.4
6. この中に知っているものはない	18.1	18.2	15.4	10.3	28.6	22.2	15.4
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	52.0	45.5	53.8	55.2	38.1	63.0	46.2
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	48.0	54.5	46.2	44.8	61.9	37.0	53.8
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	82.7	90.9	84.6	86.2	71.4	85.2	76.9
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	17.3	9.1	15.4	13.8	28.6	14.8	23.1

表 28-9. (男性) この先、医薬品個人輸入を予定するか【未定の者 (わからない)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 n 》

	全年代 (男性) (n=215)	年代					
		10代 (n=5)	20代 (n=23)	30代 (n=51)	40代 (n=57)	50代 (n=48)	60代以上 (n=31)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	116	4	13	26	30	25	18
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	81	0	7	21	21	19	13
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	70	1	9	14	13	18	15
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	60	0	4	14	17	14	11
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	67	2	6	13	18	15	13
6. この中に知っているものはない	46	0	6	12	11	10	7
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	120	3	13	21	32	33	18
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	95	2	10	30	25	15	13
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
5. 思う (とても思う、少し思う)	159	4	13	34	42	41	25
6. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	56	1	10	17	15	7	6

表 28-10. (男性) この先、医薬品個人輸入を予定するか【未定の者(わからない)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《%》

	全年代 (男性) (n=215)	年代					
		10代 (n=5)	20代 (n=23)	30代 (n=51)	40代 (n=57)	50代 (n=48)	60代以上 (n=31)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている(複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	54.0	80.0	56.5	51.0	52.6	52.1	58.1
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	37.7	0	30.4	41.2	36.8	39.6	41.9
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	32.6	20.0	39.1	27.5	22.8	37.5	48.4
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	27.9	0	17.4	27.5	29.8	29.2	35.5
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	31.2	40.0	26.1	25.5	31.6	31.3	41.9
6. この中に知っているものはない	21.4	0	26.1	23.5	19.3	20.8	22.6
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている(よく知っている、少し知っている)	55.8	60.0	56.5	41.2	56.1	68.8	58.1
2. 知らない(あまり知らない、全く知らない)	44.2	40.0	43.5	58.8	43.9	31.3	41.9
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う(とても思う、少し思う)	74.0	80.0	56.5	66.7	73.7	85.4	80.6
2. 思わない(あまり思わない、全く思わない)	26.0	20.0	43.5	33.3	26.3	14.6	19.4

表 28-11. (女性) この先、医薬品個人輸入を予定するか【未定の者 (わからない)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識 《 n 》

	全年代 (女性) (n=168)	年代					
		10代 (n=15)	20代 (n=35)	30代 (n=46)	40代 (n=34)	50代 (n=22)	60代以上 (n=16)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	85	8	17	25	19	10	6
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	69	6	15	20	8	14	6
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	55	5	13	15	11	8	3
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	35	3	7	10	5	7	3
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	55	5	12	21	8	5	4
6. この中に知っているものはない	39	4	8	12	6	5	4
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	93	7	16	27	19	14	10
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	75	8	19	19	15	8	6
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	129	9	28	36	24	20	12
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	39	6	7	10	10	2	4

表 28-12. (女性) この先、医薬品個人輸入を予定するか【未定の者 (わからない)】の年代別、個人輸入に関する知識・認識《 % 》

	全年代 (女性) (n=168)	年代					
		10代 (n=15)	20代 (n=35)	30代 (n=46)	40代 (n=34)	50代 (n=22)	60代以上 (n=16)
医薬品個人輸入に関するリスクを知っている (複数回答)							
1. 国内で品質や有効性、安全性が確認されていない	50.6	53.3	48.6	54.3	55.9	45.5	37.5
2. あらかじめ製品を確認できず、偽造品が販売される可能性がある	41.1	40.0	42.9	43.5	23.5	63.6	37.5
3. 副作用が発生しても、国内の医療関係者がその医薬品の情報を入手できず、適切に対応できない可能性がある	32.7	33.3	37.1	32.6	32.4	36.4	18.8
4. 副作用が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度の対象とならない	20.8	20.0	20.0	21.7	14.7	31.8	18.8
5. 不良品などのために返品等を希望する場合、事業者が海外にいてトラブルになりやすい	32.7	33.3	34.3	45.7	23.5	22.7	25.0
6. この中に知っているものはない	23.2	26.7	22.9	26.1	17.6	22.7	25.0
医薬品を正しく使用しても重篤な副作用が起こる可能性があることを認識している							
1. 知っている (よく知っている、少し知っている)	55.4	46.7	45.7	58.7	55.9	63.6	62.5
2. 知らない (あまり知らない、全く知らない)	44.6	53.3	54.3	41.3	44.1	36.4	37.5
医薬品を自己判断で使用することは危険だと思う							
1. 思う (とても思う、少し思う)	76.8	60.0	80.0	78.3	70.6	90.9	75.0
2. 思わない (あまり思わない、全く思わない)	23.2	40.0	20.0	21.7	29.4	9.1	25.0

図 1. 医薬品個人輸入の頻度（医薬品の用途別）

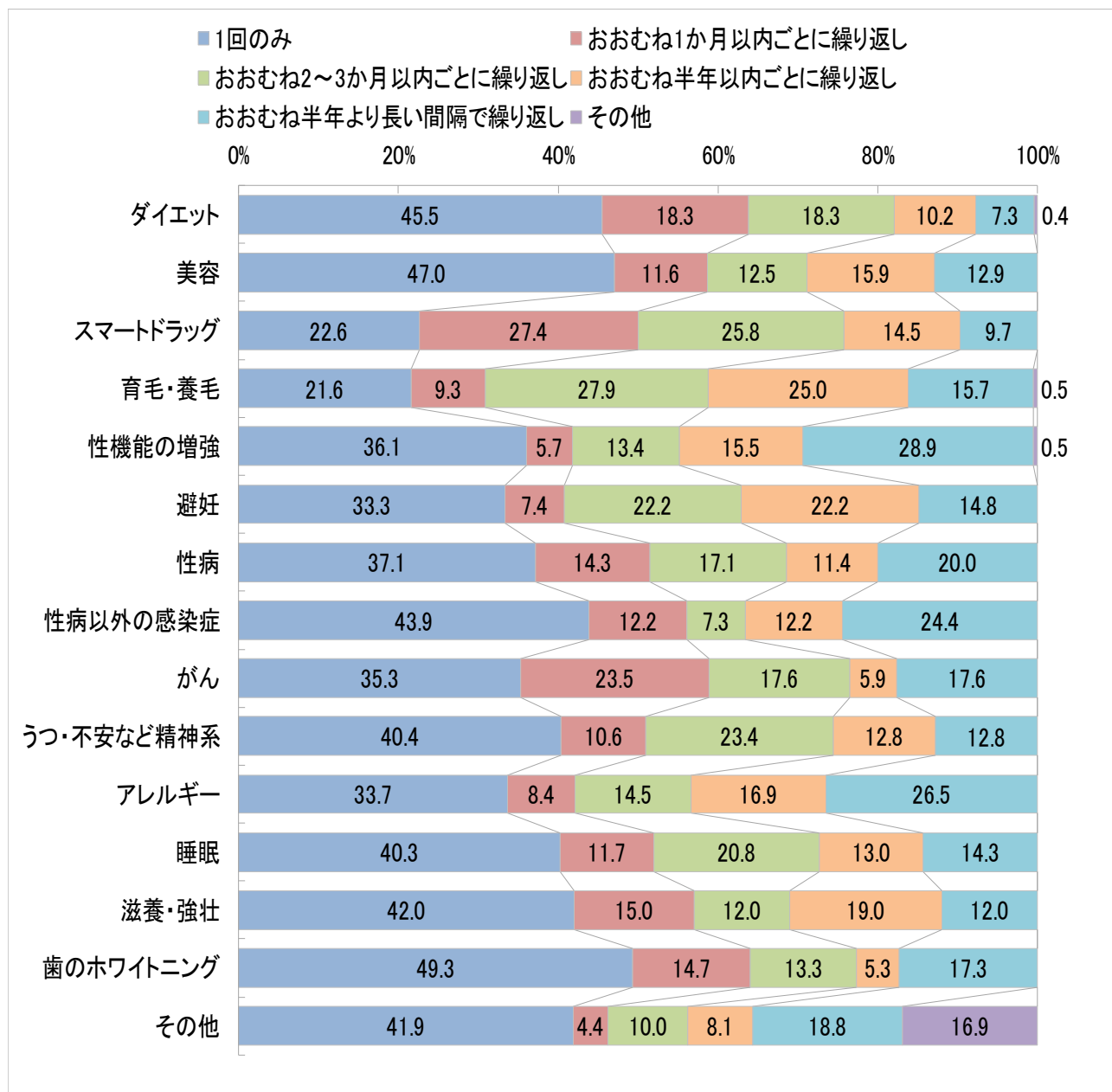


図 2. 医薬品個人輸入の期間（医薬品の用途別）

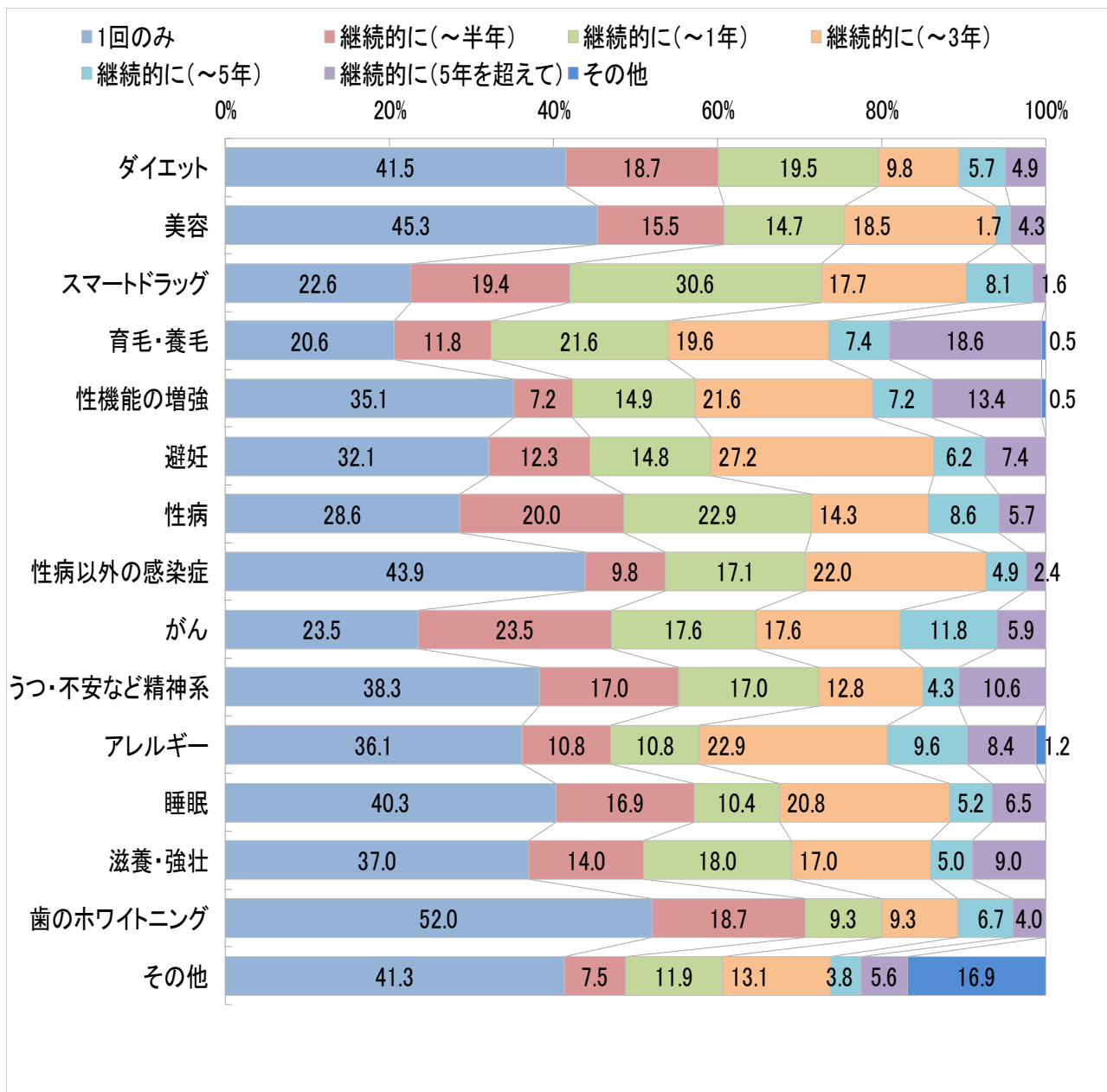


図 3. 国内類似薬の有無（医薬品の用途別）

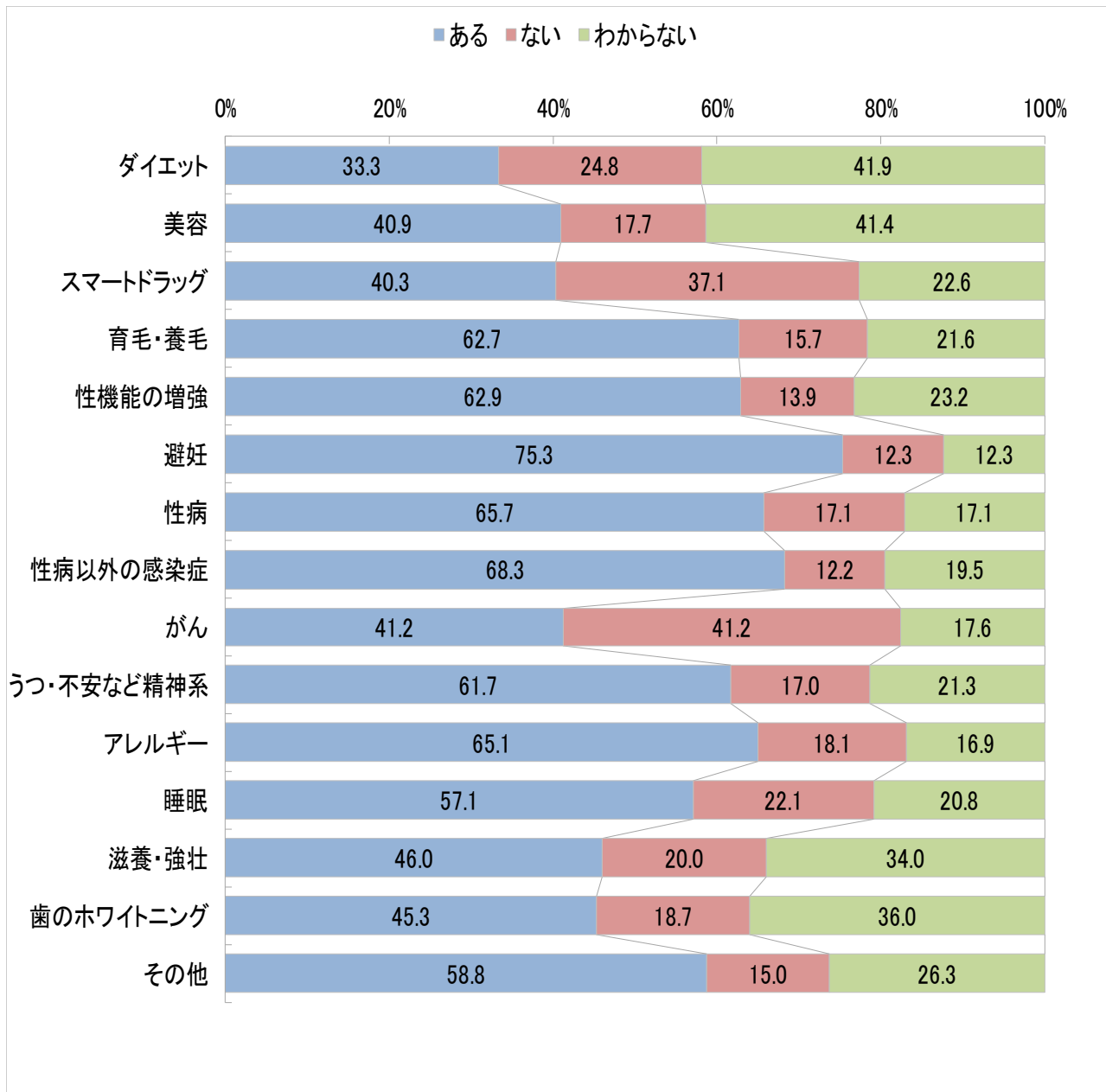




図 4. 「美容関連薬」個人輸入経験者（性別）（n=232）

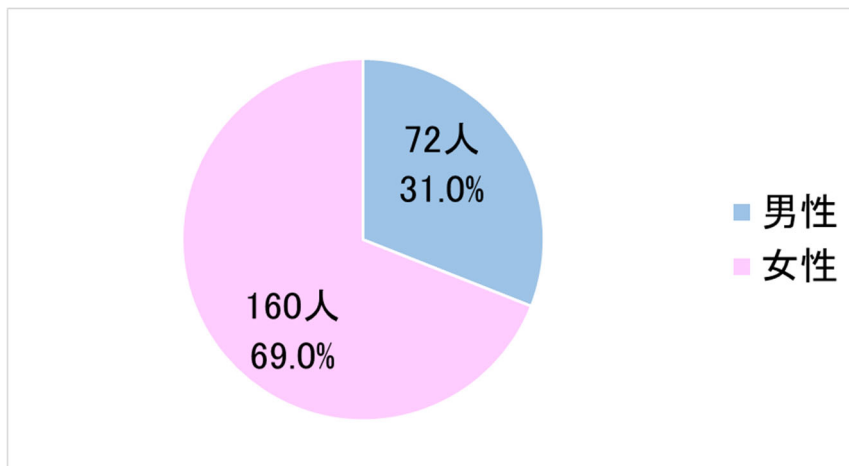


図 5. 「美容関連薬」個人輸入経験者（年齢）（n=232）

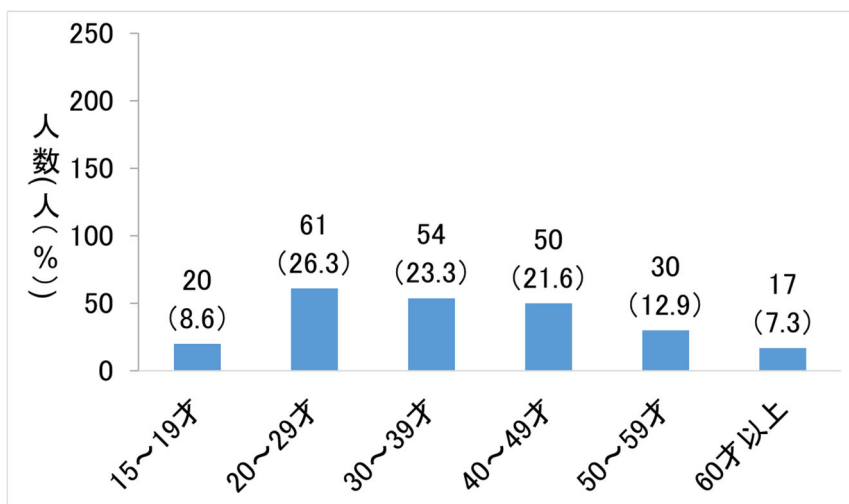


図 6. 「美容関連薬」の用途（n=232、複数回答）

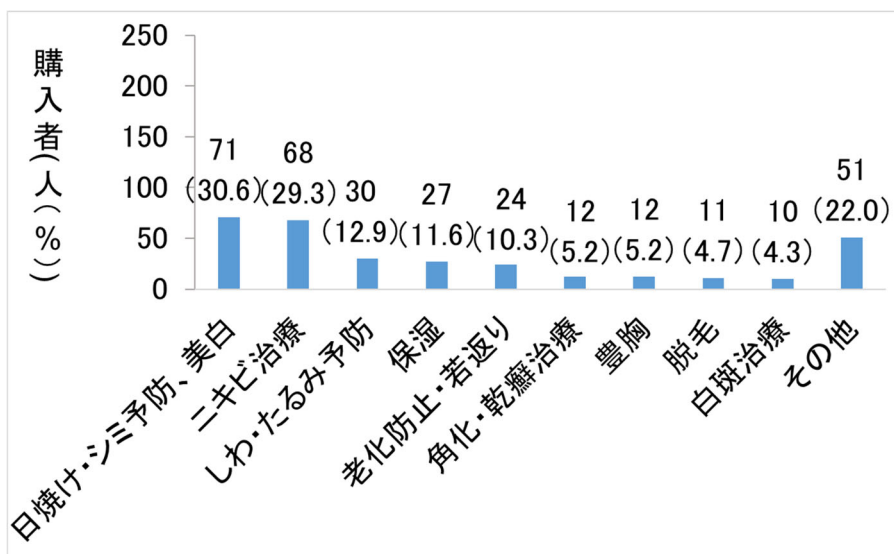


図7. 「スマートドラッグ」個人輸入経験者：性別 (n=62)

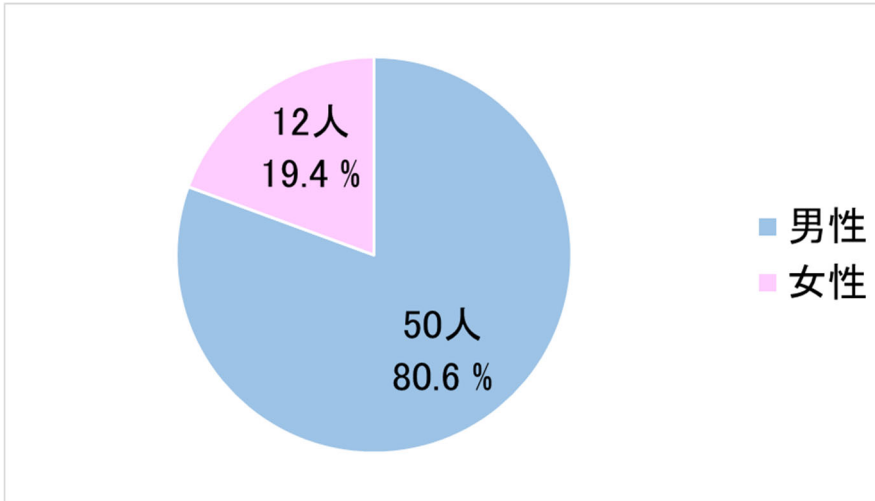


図8. 「スマートドラッグ」個人輸入経験者：年齢 (n=62)

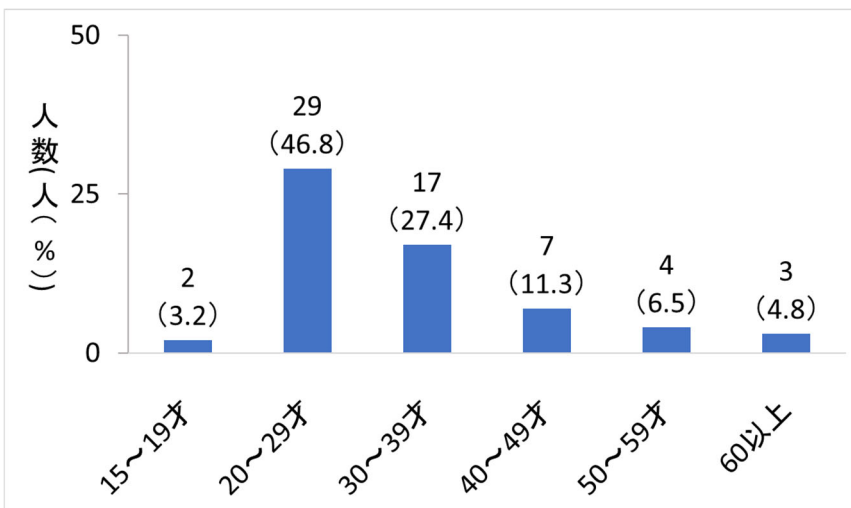


図9. 「スマートドラッグ」の用途 (n=62、複数回答)

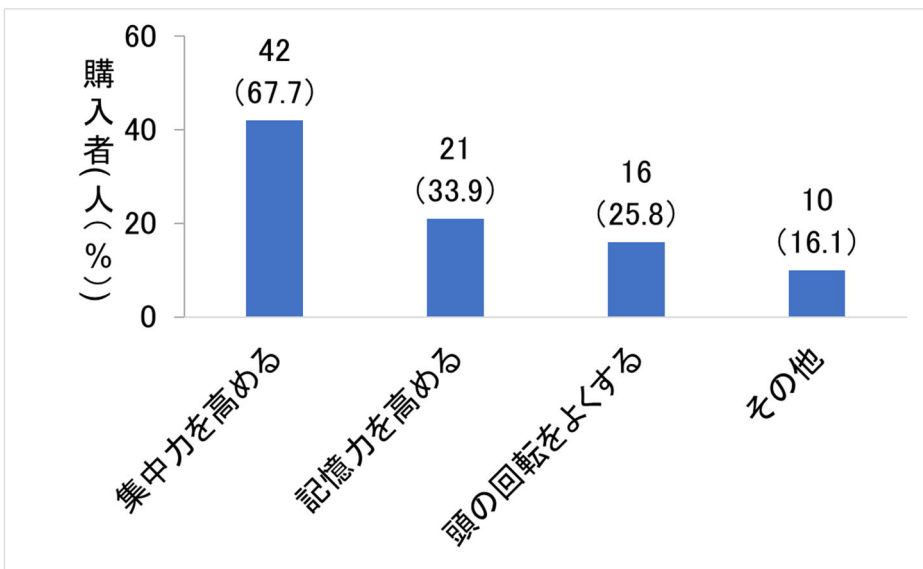


図 10. 個人輸入医薬品による副作用様症状経験者 (n=226) が輸入した医薬品の用途

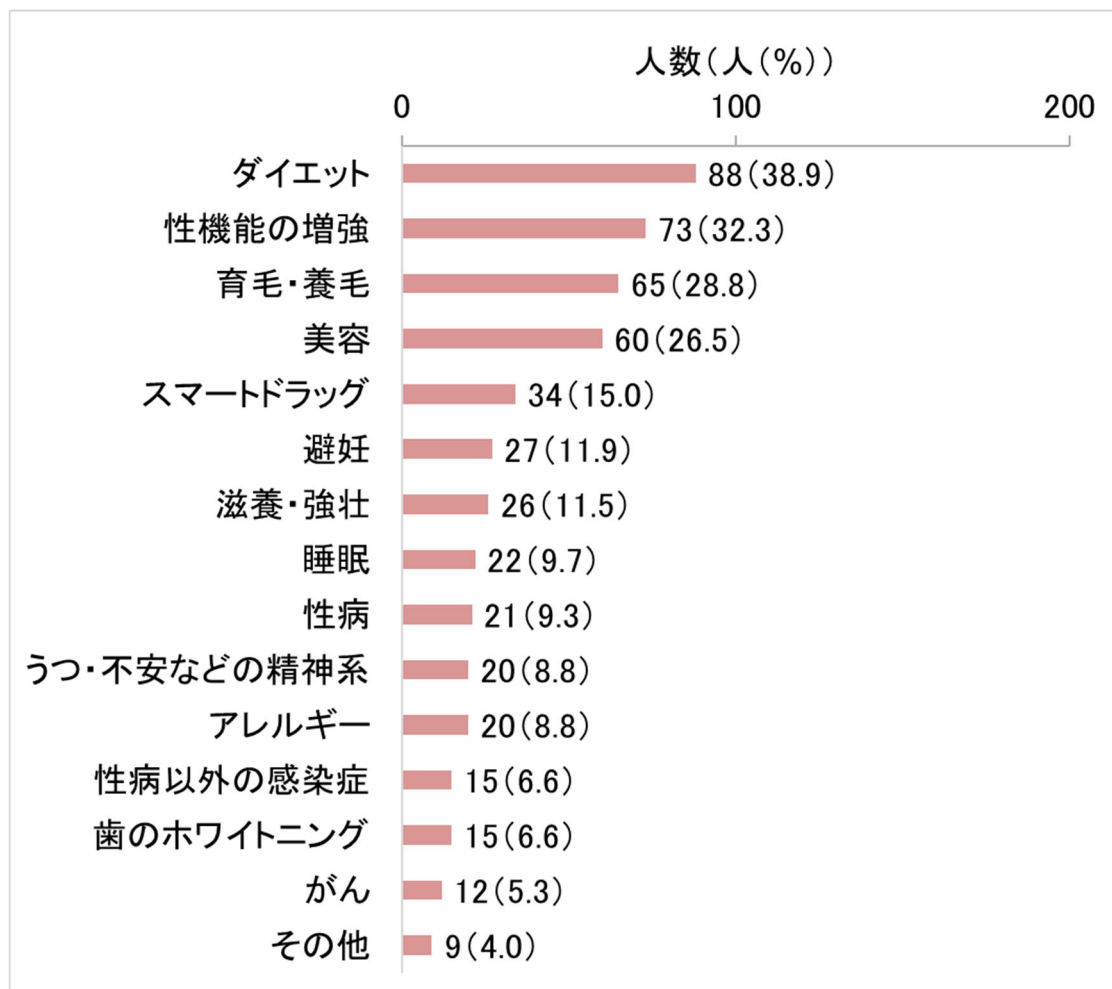


図 11. 個人輸入医薬品の用途別購入者に占める、副作用様症状経験者の割合

